

平成26年度 尾張旭市営バス利用状況報告書



平成27年8月
都市整備部都市計画課

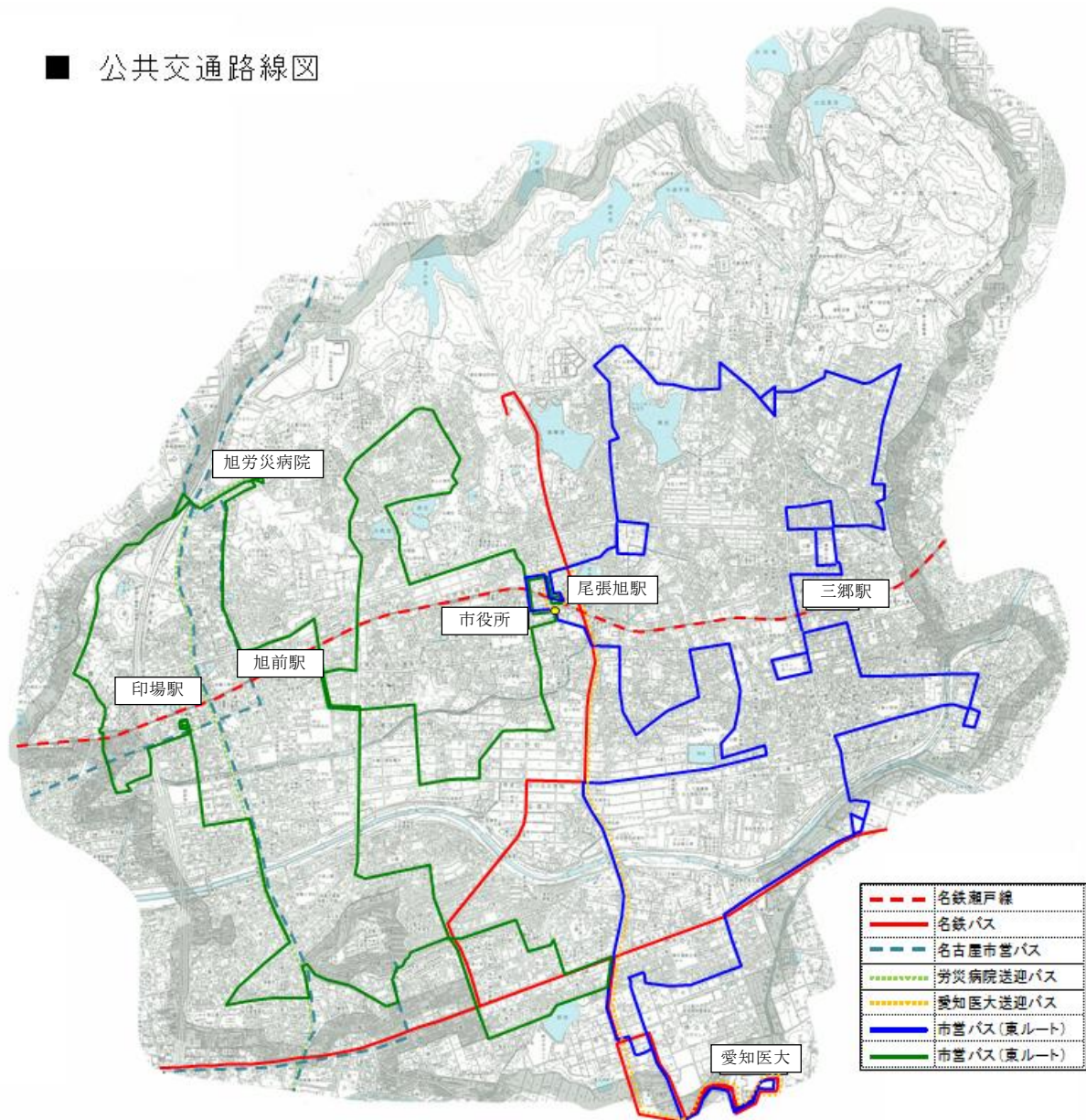
目 次

1	市営バスの概要	1
2	市営バス運行の経緯	2
(1)	試験運行開始前	2
(2)	試験運行の実施	3
(3)	本格運行の実施	3
3	市営バスの利用状況	4
(1)	利用者の推移及び内訳	4
(2)	ルート別利用者数の状況	5
(3)	運行便別利用者数の状況（全体）	6
(4)	運行便別利用者数の状況（ルート別）	7
(5)	停留所別利用者数の状況	10
(6)	ルート別の停留所利用の状況	19
(7)	平日第2便の平均乗車人員の状況	23
(8)	曜日別の利用者数の状況	26
4	市営バスの運行経費の状況	27
(1)	市営バスの運行経費の状況	27
(2)	近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況	28
5	市営バス運行に対する市民意識	30
	平成25年度利用者アンケート調査集計結果	33

1 市営バスの概要

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- 本報告書は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの、1年間の西ルート（マイクロバス2台 定員22人）及び東ルート（マイクロバス2台 定員26人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。
- 運行日は、平日及び土曜日とし、日曜日、祝日（振替含む）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）は運休としています。また、運行時間は8時20分から17時30分までとし、1日7便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが23.9km、東ルートが24.2kmとしています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

▽ 平成10年度

市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問。

▽ 平成11年度

巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出。

▽ 平成12年度

交通問題対策特別委員会の設置。

イ 平成15年度

▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催。

▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施。

▽ 協議会からの主な提言

・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること。

・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること。

・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること。

・通勤通学者を考えると、運行時間が早朝から夜までになり、運行経費もかかる。まず、第1歩を始めることが重要という観点から、「元気で歩けるお年寄り」などを対象に、1人で活動可能な人の交通手段を考えること。

ウ 平成16年度

▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催。

▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認。

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う積み残し対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に對する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさぴ一号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更し、4台の車両のデザインを統一。

ウ 平成24年4月1日～

名鉄瀬戸線旭前駅の駅前広場整備に伴い、西ルートを一部変更し、名鉄瀬戸線北側から旭前駅へ乗り入れを実施。

3 市営バスの利用状況

(1) 利用者の推移及び内訳

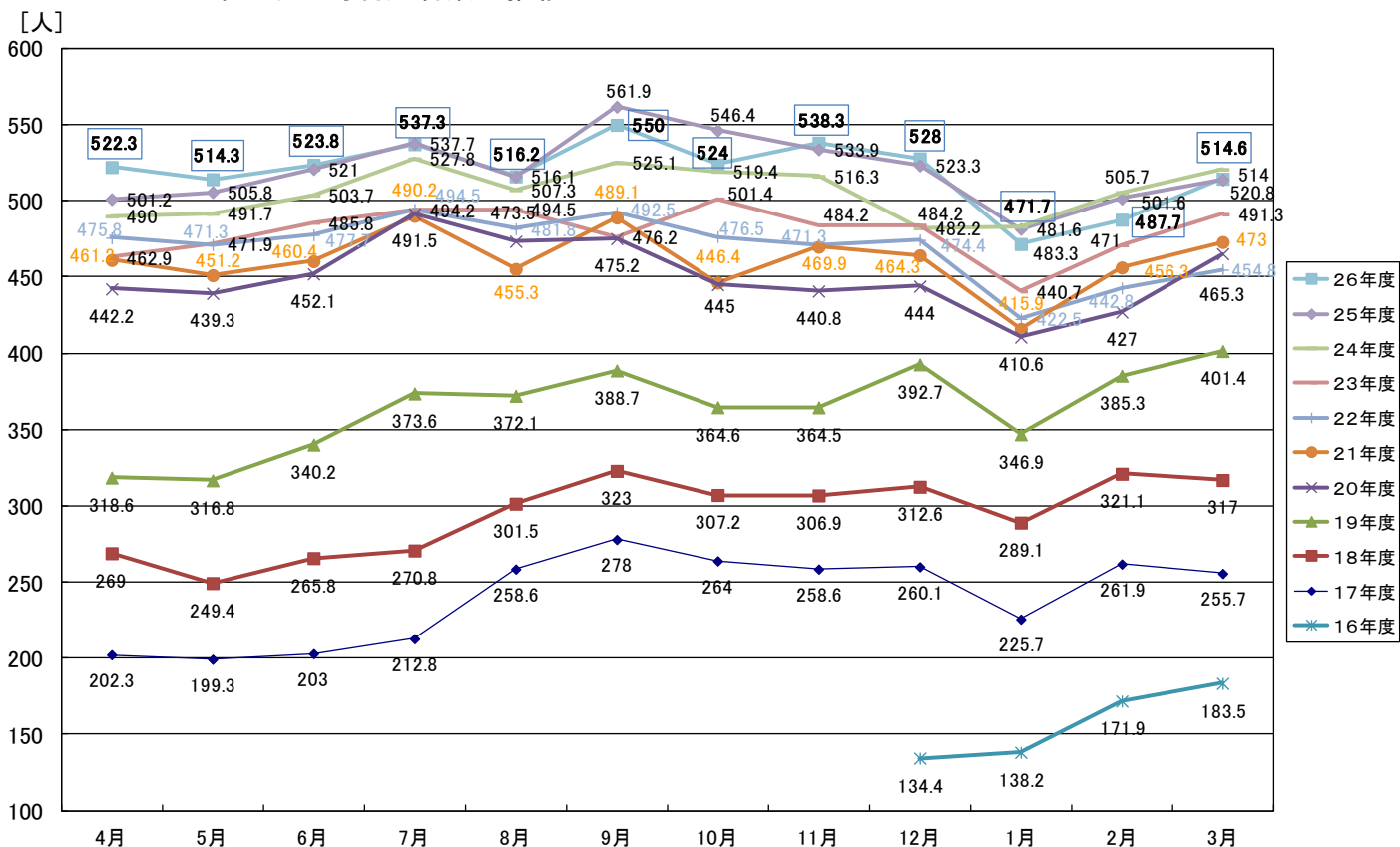
○ 年間利用者数の推移

単位：人

	年間利用者数	1日あたり 平均利用者数	有料利用者	無料利用者		
				未就学	障がい者	介助者
平成16年度	14,995	157.8	14,409	478	—	108
平成17年度	70,540	239.9	67,498	2,682	—	360
平成18年度	86,793	294.2	84,064	2,492	—	237
平成19年度	107,263	363.6	103,214	3,739	—	310
平成20年度	132,653	451.2	119,918	4,320	7,703	712
平成21年度	135,625	461.3	118,363	3,288	12,813	1,161
平成22年度	138,273	470.3	119,080	2,718	15,205	1,270
平成23年度	141,731	480.4	118,025	2,993	18,888	1,825
平成24年度	148,868	506.4	122,785	3,464	20,616	2,003
平成25年度	153,553	520.5	124,102	3,015	24,562	1,874
平成26年度	152,693	519.4	120,949	3,319	26,496	1,929

- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行

○ 1日あたり平均利用者数の推移



(2) ルート別利用者数の状況

全体を通し、冬季（12～2月）の間は、他の月と比べ、気温等を要因とする自然減と思われる利用者数の落ち込みがありました。その他の月では、特に秋季（9～11月）の利用が多く、反対に8月は少ない傾向がありました。8月は猛暑やお盆による病院の休診により、利用が少なく、反対に気温が下がり過ごしやすくなる秋以降にバスを多く利用されたと考えられます。

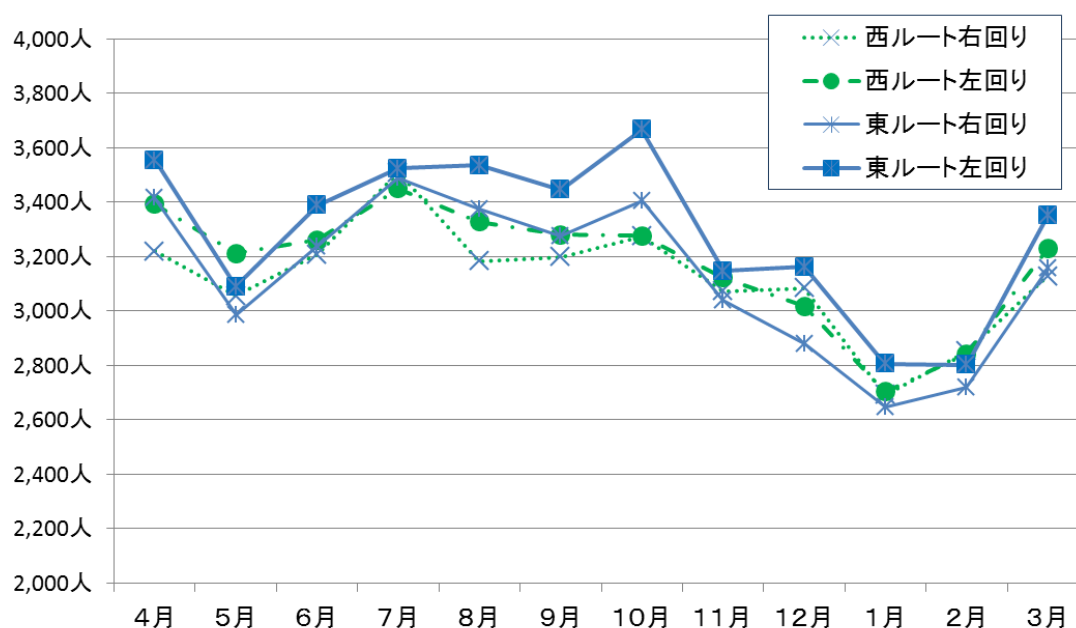
路線別利用者数の5月の利用者数の落ち込みは、ゴールデンウィーク期間など運休日が多かったことが考えられます。ルート別で上半期では東ルートの利用者が多かったですが、下半期には西ルートの利用者が東ルートを上回っている月もありました。これは、愛知医大スクールバスが運行したことに伴う東ルートの利用者の減少によるものと考えられます。

○ 路線別利用者数

単位：人

	西ルート			東ルート			合計
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計	
4月(26日間)	3,220	3,392	6,612	3,415	3,554	6,969	13,581
5月(24日間)	3,055	3,211	6,266	2,988	3,089	6,077	12,343
6月(25日間)	3,207	3,261	6,468	3,239	3,389	6,628	13,096
7月(26日間)	3,508	3,450	6,958	3,489	3,524	7,013	13,971
8月(26日間)	3,183	3,328	6,511	3,374	3,536	6,910	13,421
9月(24日間)	3,199	3,280	6,479	3,276	3,446	6,722	13,201
10月(26日間)	3,275	3,277	6,552	3,406	3,667	7,073	13,625
11月(23日間)	3,073	3,123	6,196	3,038	3,147	6,185	12,381
12月(23日間)	3,084	3,018	6,102	2,880	3,162	6,042	12,144
1月(23日間)	2,692	2,703	5,395	2,648	2,806	5,454	10,849
2月(23日間)	2,852	2,842	5,694	2,720	2,803	5,523	11,217
3月(25日間)	3,128	3,228	6,356	3,158	3,350	6,508	12,864
合計(294日間)	37,476	38,113	75,589	37,631	39,473	77,104	152,693

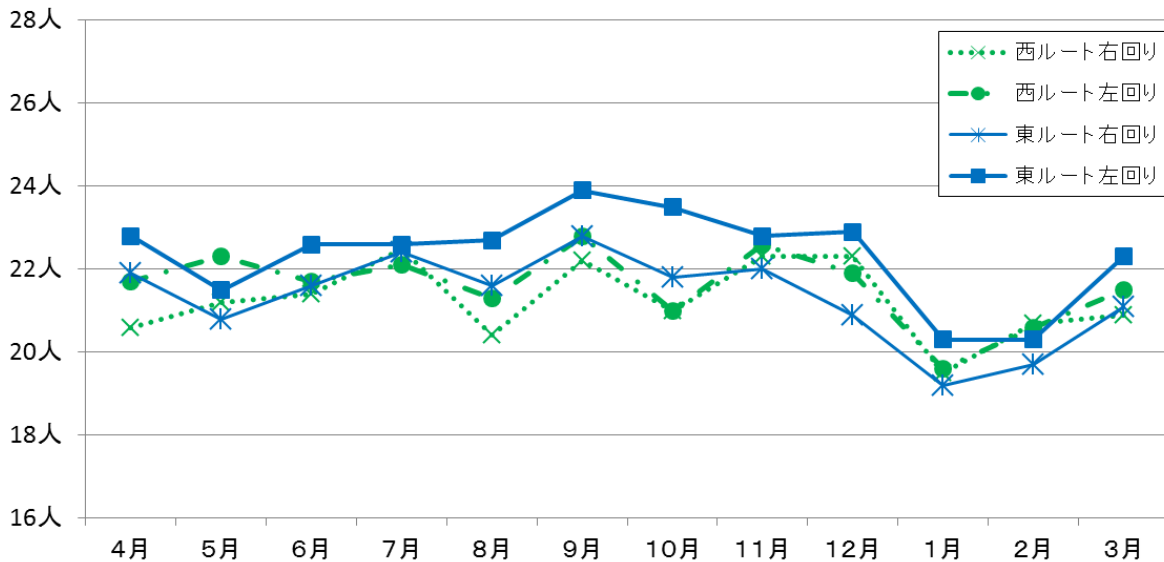
※（ ）内は運行日数



○ 1便当りの平均利用者数

単位：人

	西ルート		東ルート		全体	平成25年度 (全体)
	右回り	左回り	右回り	左回り		
4月	20.6	21.7	21.9	22.8	21.8	20.7
5月	21.2	22.3	20.8	21.5	21.4	20.9
6月	21.4	21.7	21.6	22.6	21.8	21.3
7月	22.5	22.1	22.4	22.6	22.4	22.0
8月	20.4	21.3	21.6	22.7	21.5	21.2
9月	22.2	22.8	22.8	23.9	22.9	23.2
10月	21.0	21.0	21.8	23.5	21.8	22.6
11月	22.3	22.6	22.0	22.8	22.4	22.1
12月	22.3	21.9	20.9	22.9	22.0	21.4
1月	19.5	19.6	19.2	20.3	19.7	20.0
2月	20.7	20.6	19.7	20.3	20.3	20.7
3月	20.9	21.5	21.1	22.3	21.4	20.7



(3) 運行便別利用者数の状況（全体）

平成26年4月から平成27年3月までの間における、西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用状況の割合は、次のとおりとなりました。

各ルートとも第2～4便の利用者数が多くなっています。

なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、その利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

	西ルート		東ルート	
	右回り	左回り	右回り	左回り
第1便(8:20～9:07)	11.1%	10.1%	5.2%	9.3%
第2便(9:15～10:33)	19.8%	22.4%	22.9%	20.6%
第3便(10:45～12:03)	19.5%	17.7%	20.1%	20.8%
第4便(12:15～13:33)	16.5%	17.9%	18.7%	18.3%
第5便(13:45～15:03)	13.0%	12.6%	13.0%	14.0%
第6便(15:15～16:33)	13.6%	11.7%	12.4%	12.2%
第7便(16:45～17:30)	6.5%	7.6%	7.6%	4.8%

(4) 運行便別利用者数の状況（ルート別）

平成26年4月、7月、10月及び平成27年1月における、西ルート及び東ルートの1日当りの利用者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

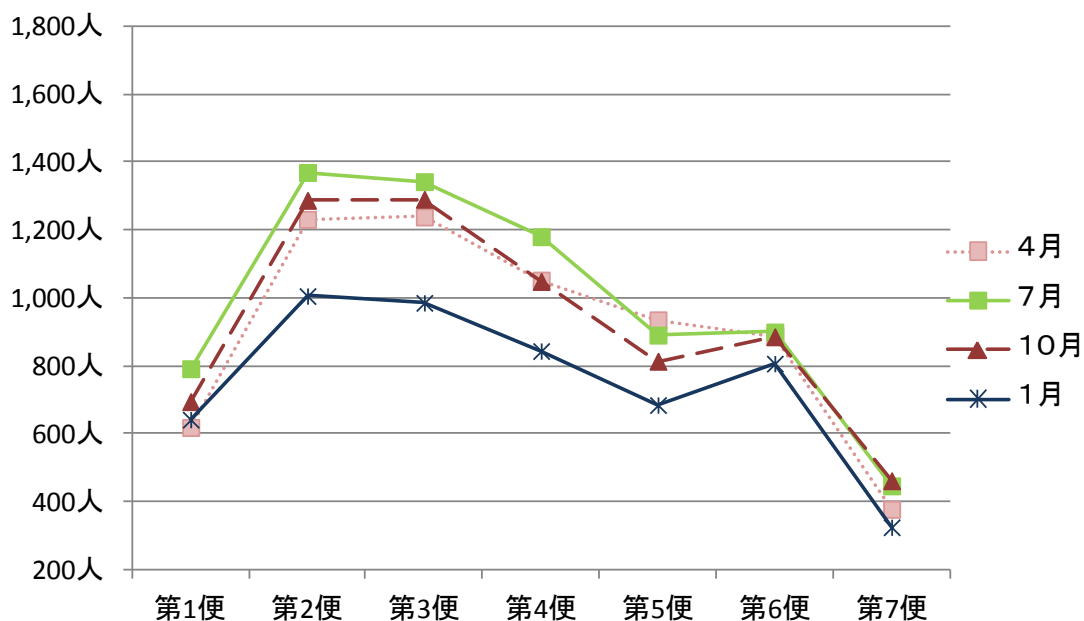
なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

ア 西ルート（右回り）

西ルート（右回り）では、各月とも第2便（9：15～10：33）と第3便（10：45～12：03）の利用者数が最も多く、第4便（12：15～13：33）、第5便（13：45～15：03）と時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、利用者の多くが病院への通院、買い物、市役所など公共施設への用事などにバスを利用していることから、第2～4便での利用者数が多くなっていることが考えられます。

○ 西ルート（右回り）運行便別利用者数

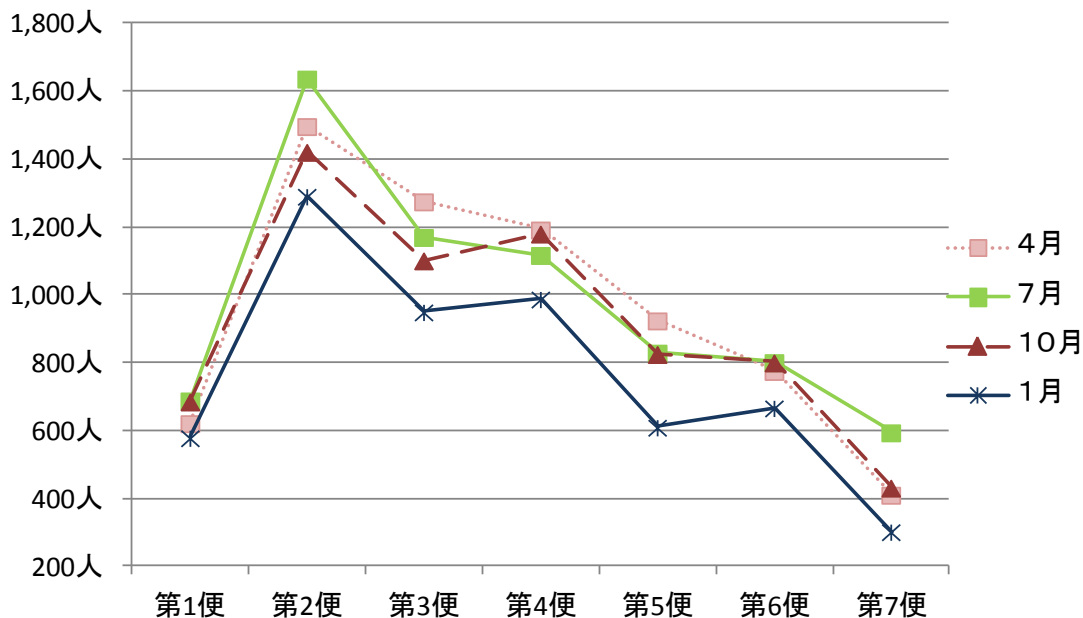


イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）では、各月とも第2便の利用者数が最も多く、「右回り」と同様に、第3便、第4便、第5便、第6便と時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

第2便の利用者数が一番多い理由として、病院への外来や商業施設の開店時間などが要因の一つと考えられます。

○ 西ルート（左回り）運行便別利用者数

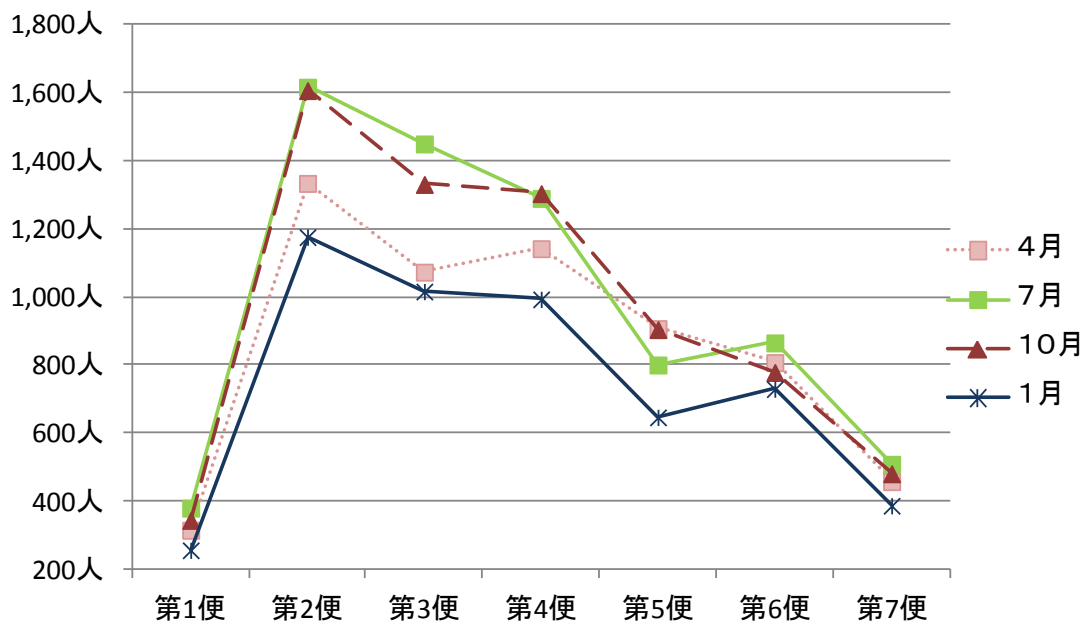


ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、各月とも第2便の利用者数が最も多く、続いて第3便、第4便の利用者数が多い傾向が見られます。

この第2～4便では「市役所」「愛知医大」への利用に加え、「三郷南」の利用も多く、当停留所にある大型商業施設の利用者が多数あることが、その要因の一つであると考えられます。

○ 東ルート（右回り）運行便別利用者数

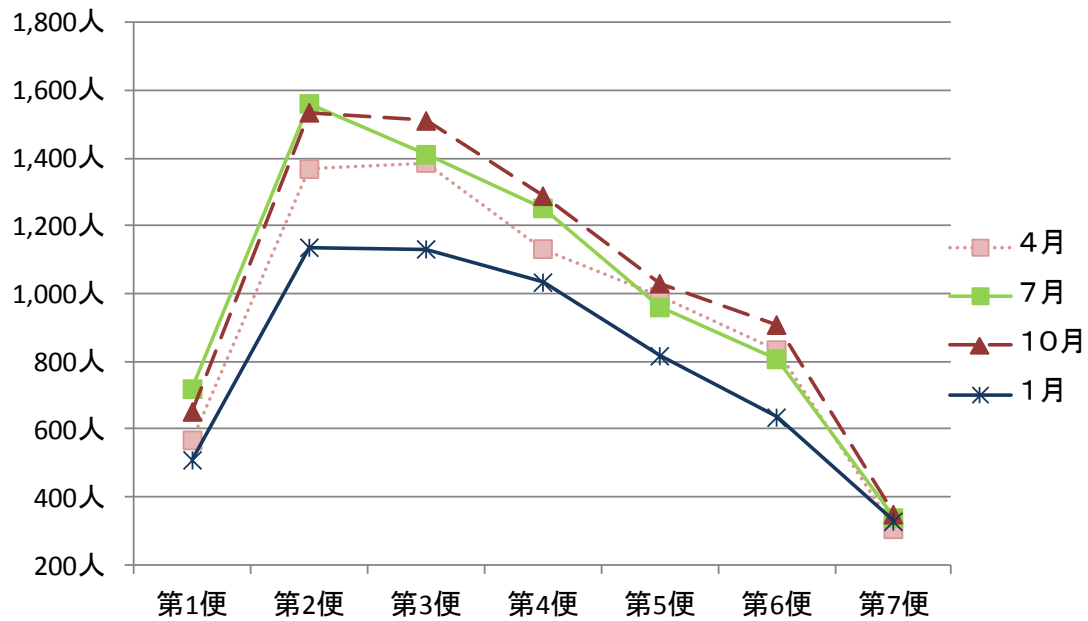


エ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）も右回りと同様に、各月とも第2～4便の利用者数が多くなっています。

なお、第1便と第7便の利用者が減少する傾向は、これまでと同様ですが、第7便（16：45～17：30）の利用者数は、他のルートを下回っています。

○ 東ルート（左回り）運行便別利用者数



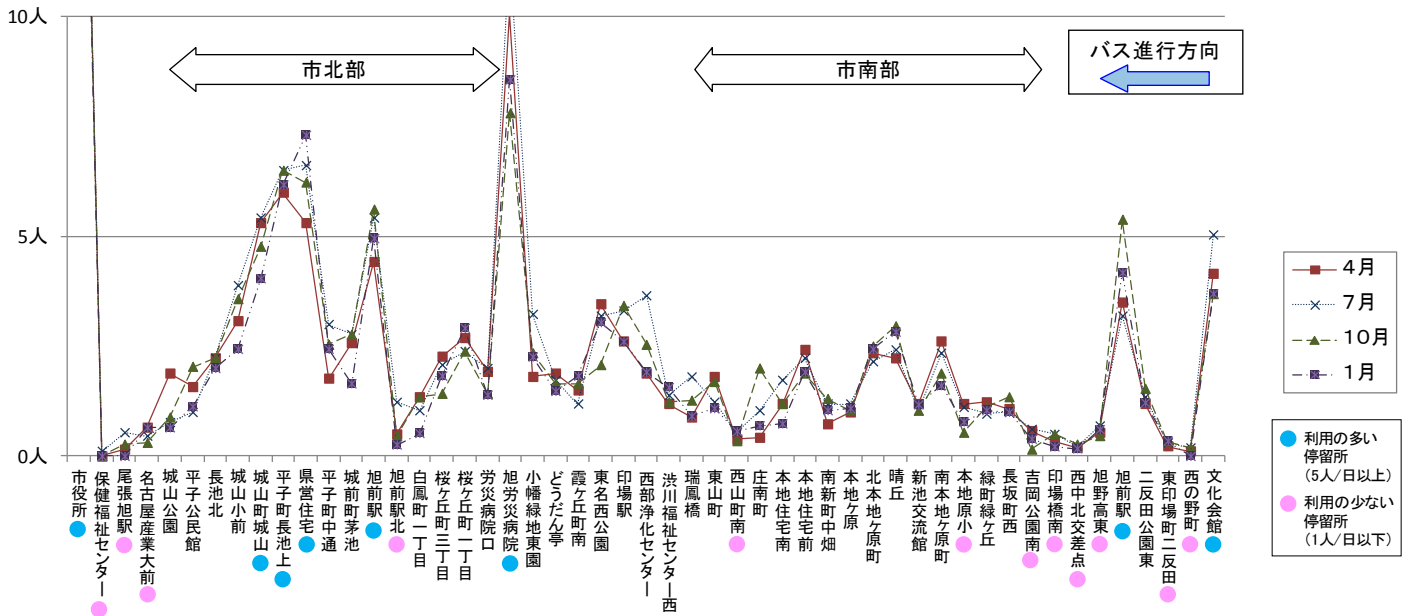
(5) 停留所別利用者数の状況

平成26年4月、7月、10月及び平成27年1月における、西ルート及び東ルートの1日あたりの利用者数を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

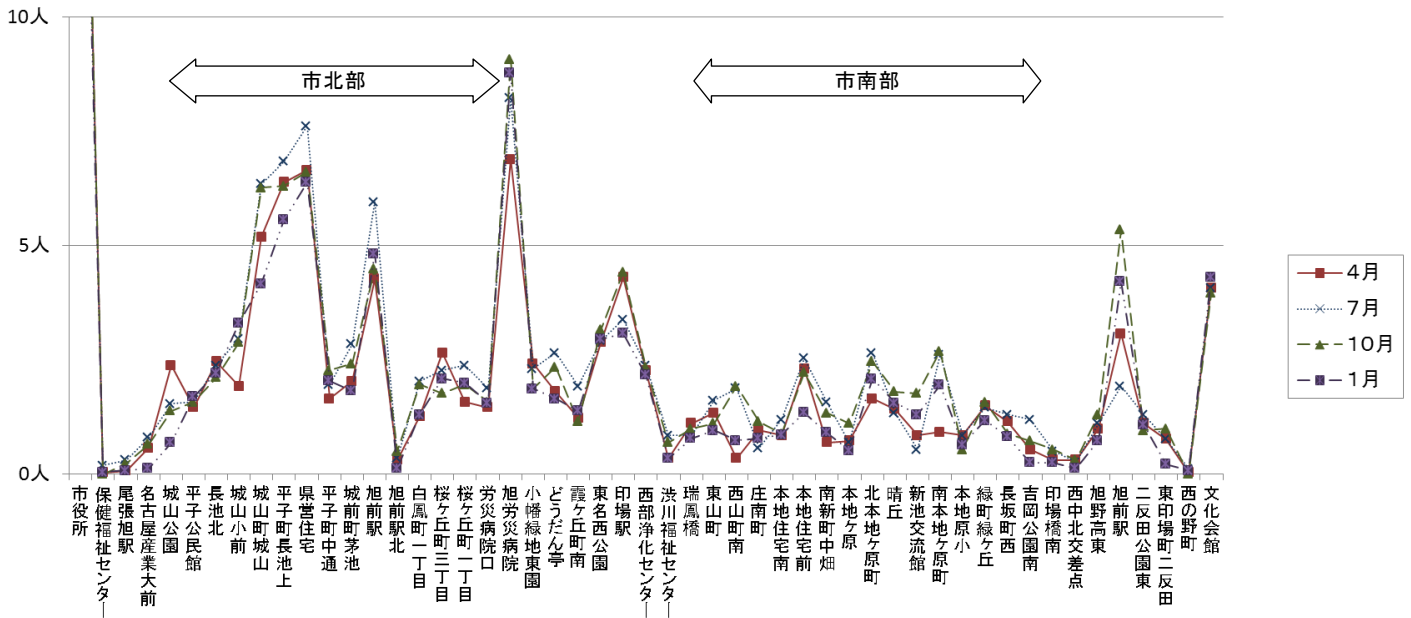
ア 西ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「城山町城山」「平子町長池上」「県営住宅」「旭前駅」「旭労災病院」「旭前駅」「文化会館」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「名古屋産業大前」「旭前駅北」「西山町南」「本地原小」「吉岡公園南」「印場橋南」「西中北交差点」「旭野高東」「東印場町二反田」「西の野町」となっており、特に市南部での利用数が少ない傾向にあります。なお、月別の利用状況には、それほど大きな差異は見られません。



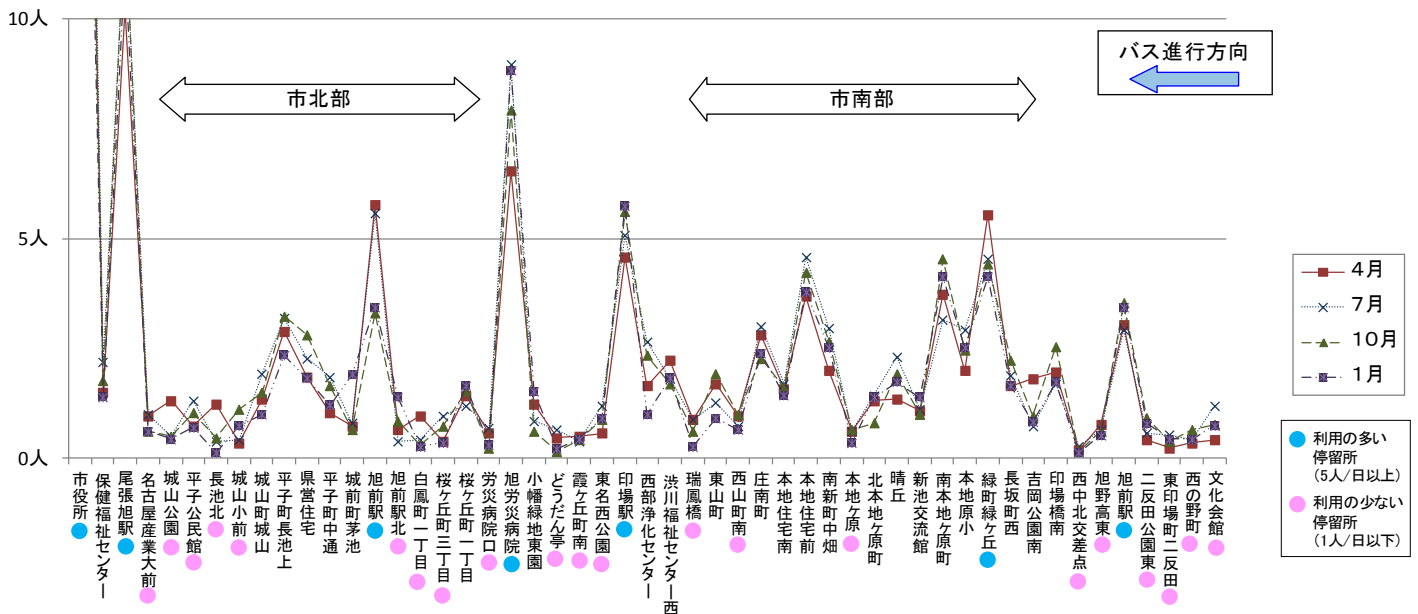
参考 平成25年度西ルート右回り利用状況【乗車】



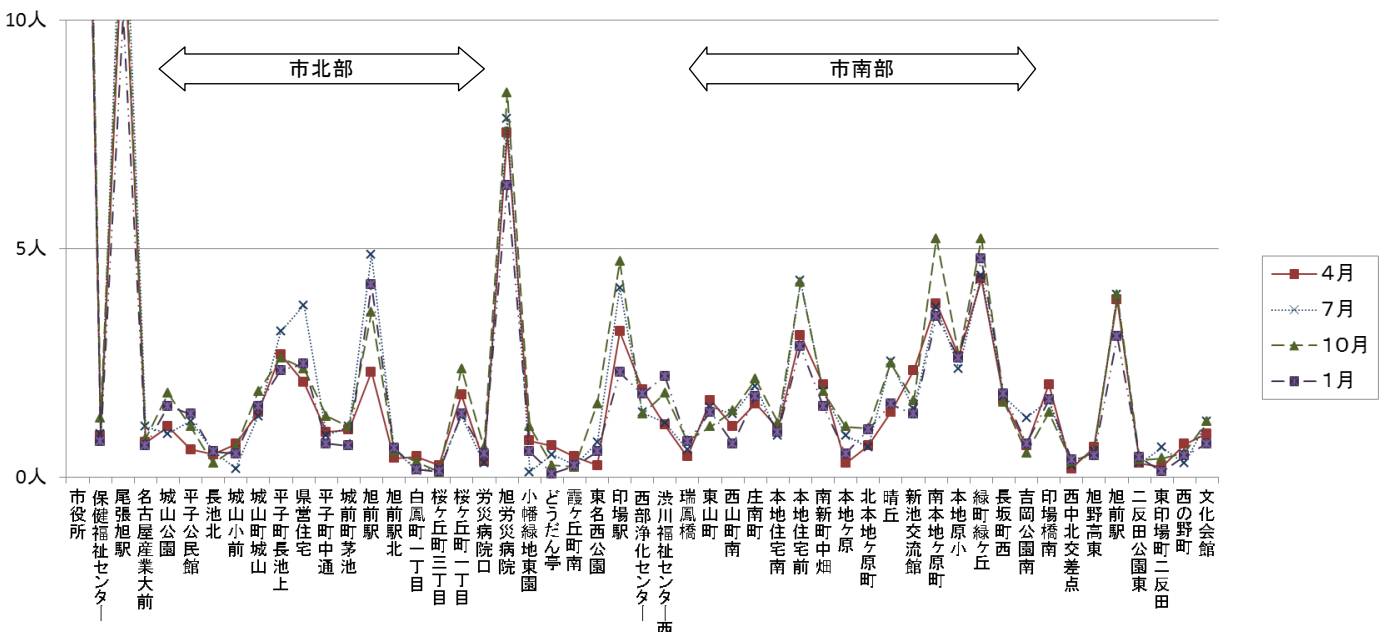
イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「旭前駅」「旭労災病院」「印場駅」「緑町緑ヶ丘」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「尾張旭駅」での降車が非常に多くなっています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「平子公民館」「長池北」「城山小前」「旭前駅北」「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町三丁目」「労災病院口」「どうだん亭」「霞ヶ丘町南」「東名西公園」「瑞鳳橋」「西山町南」「本地ヶ原」「西中北交差点」「旭野高東」「二反田公園東」「東印場町二反田」「西の野町」「文化会館」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 平成25年度西ルート右回り利用状況【降車】

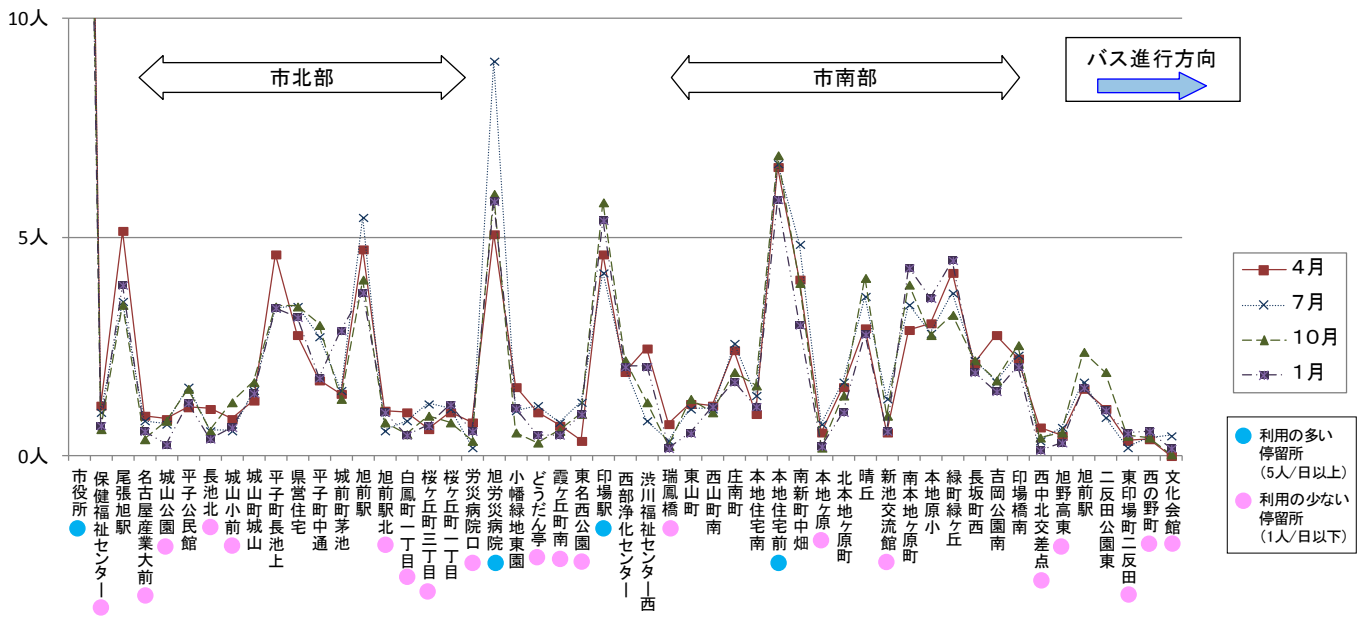


ウ 西ルート（左回り）【乗車】

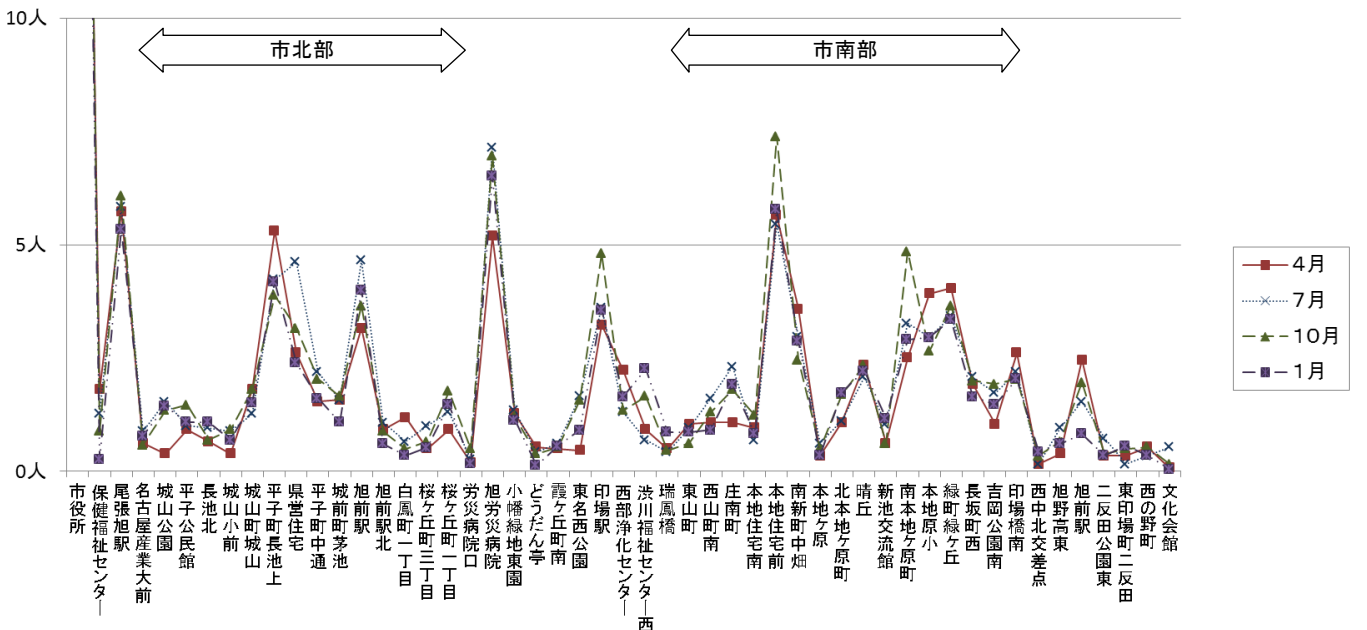
乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭労災病院」「印場駅」「本地住宅前」となっており、「右回り」と比較し、市北部の住宅地での利用数がやや少なく、ルート全体にわたって利用されている状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「名古屋産業大前」「城山公園」「長池北」「城山小前」「旭前駅北」「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町三丁目」「労災病院口」「どうだん亭」「霞ヶ丘町南」「東名西公園」「瑞鳳橋」「本地ヶ原」「新池交流館」「西中北交差点」「旭野高東」「東印場町二反田」「西の野町」「文化会館」となっています。

「右回り」で「尾張旭駅」の利用数が少なかったことと対照的な結果となっています。



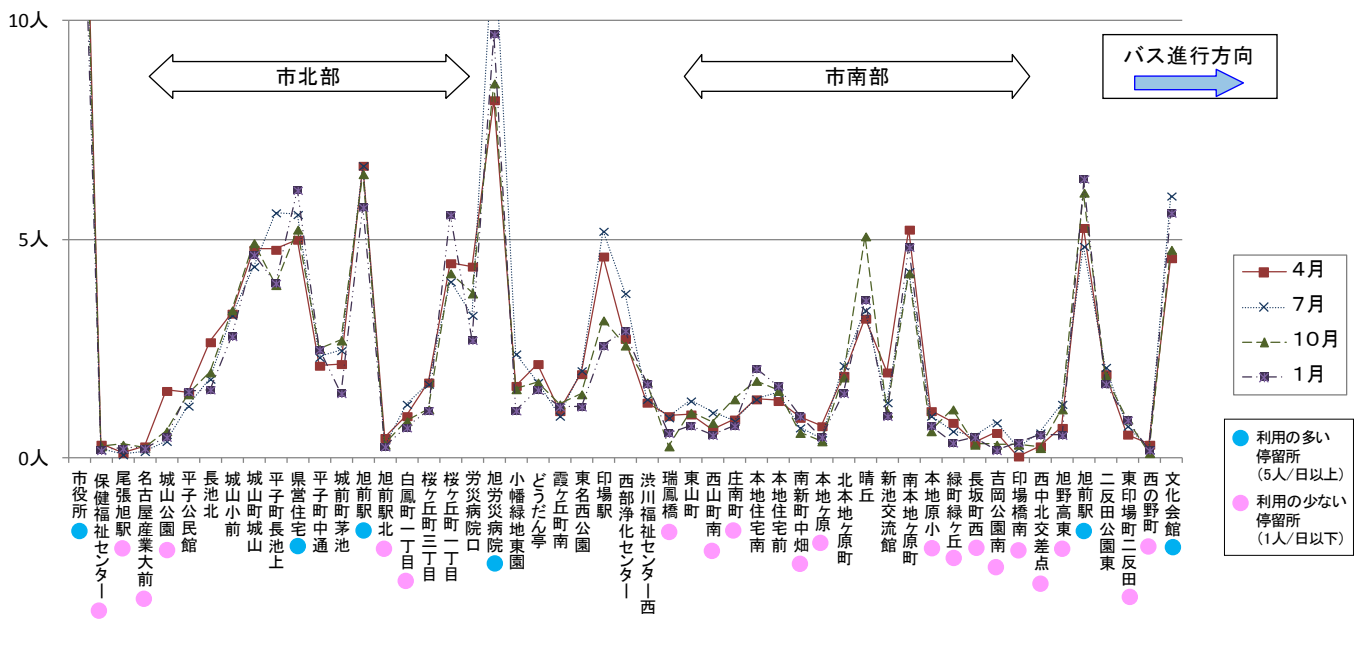
参考 平成25年度西ルート左回り利用状況【乗車】



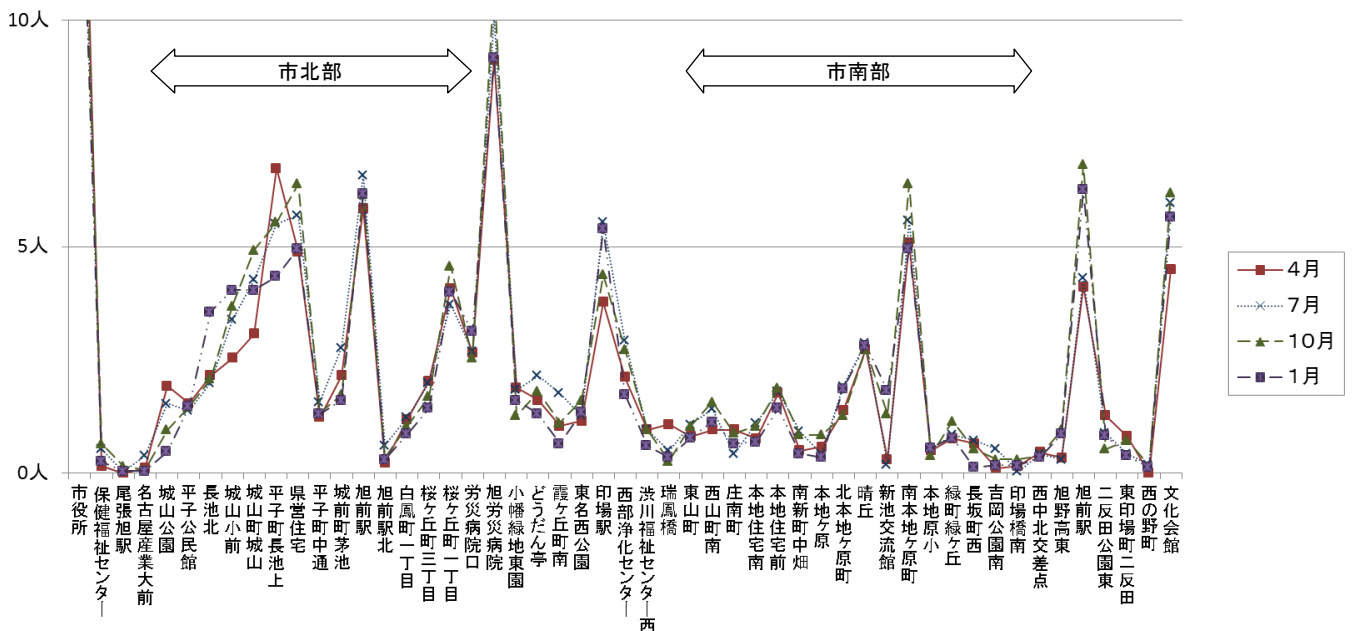
エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「県営住宅」「旭前駅」「旭労災病院」「旭前駅」「文化会館」となっており、「右回り」の「乗車」と類似した傾向が見られます。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「名古屋産業大前」「城山公園」「旭前駅北」「白鳳町一丁目」「瑞鳳橋」「西山町南」「庄南町」「南新町中畑」「本地ヶ原」「本地原小」「緑町緑ヶ丘」「長坂町西」「吉岡公園南」「印場橋南」「西中北交差点」「旭野高東」「東印場町二反田」「西の野町」となっており、「右回り」で「尾張旭駅」の利用数が多かったことと対照的な結果となっています。



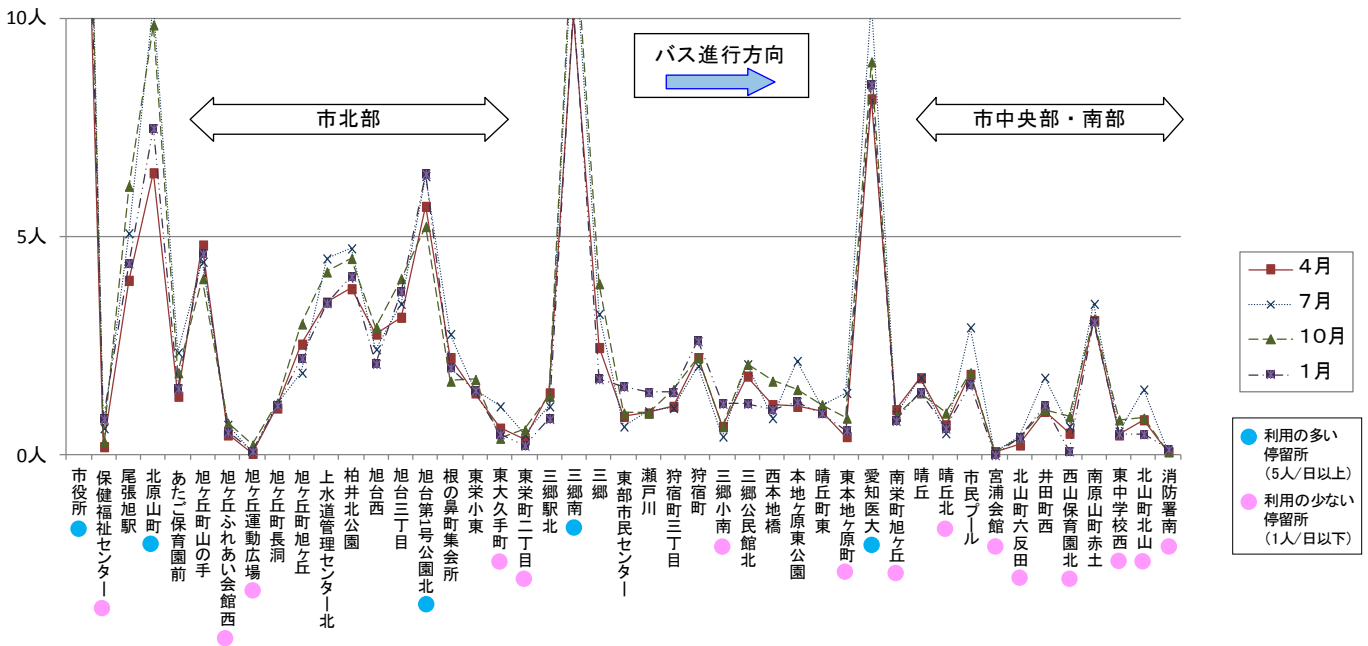
参考 平成25年度西ルート左回り利用状況【降車】



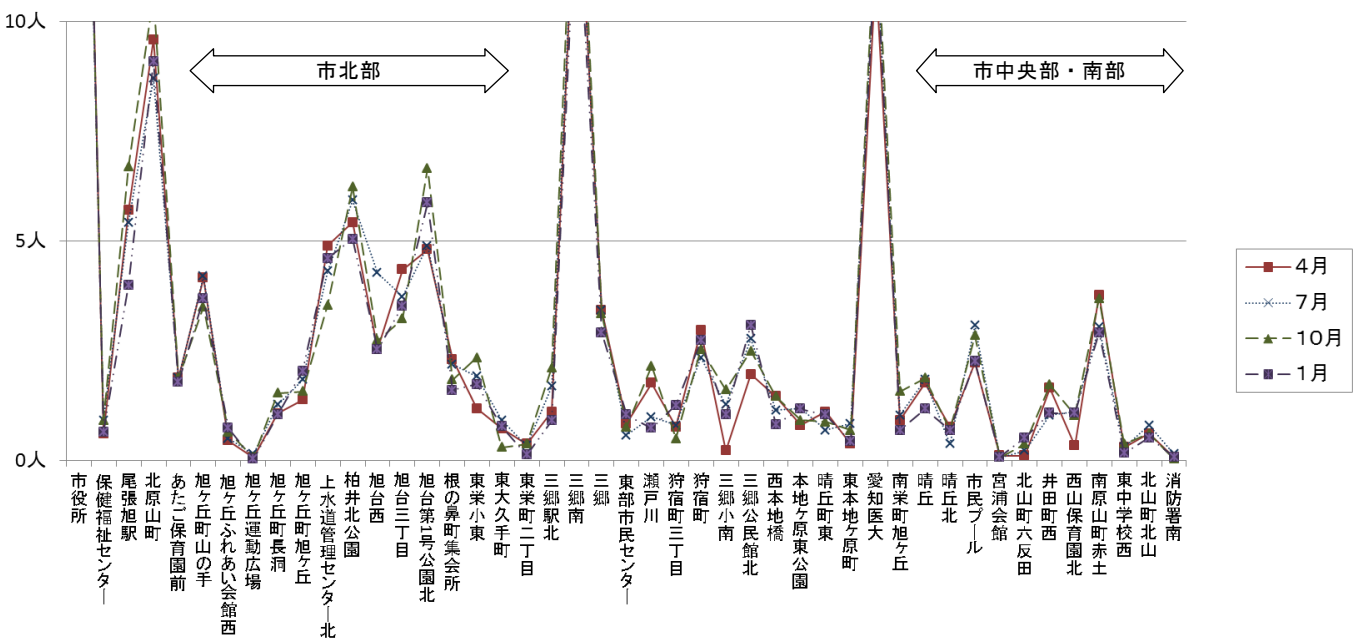
オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「北原山町」「旭台第1号公園北」「三郷南」「愛知医大」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「旭ヶ丘ふれあい会館西」「旭ヶ丘運動広場」「東大久手町」「東栄町二丁目」「三郷小南」「東本地ヶ原町」「南栄町旭ヶ丘」「晴丘北」「宮浦会館」「北山町六反田」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」「消防署南」となっており、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



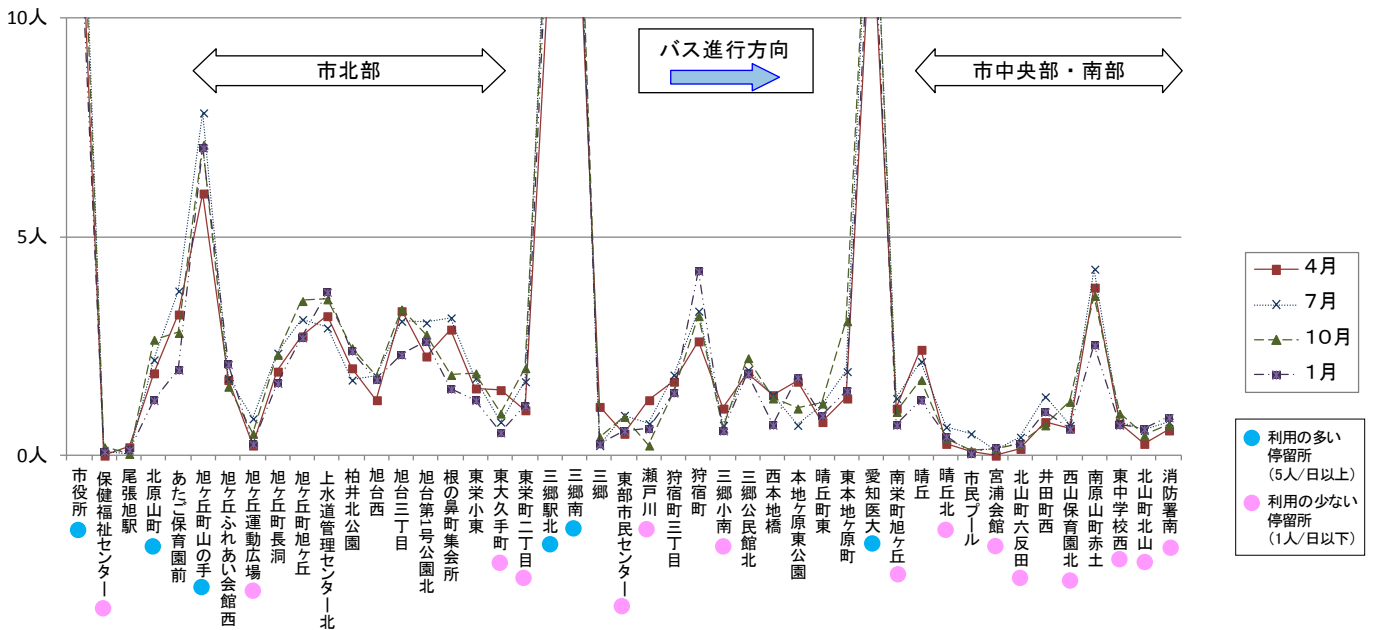
参考 平成25年度東ルート右回り利用状況【乗車】



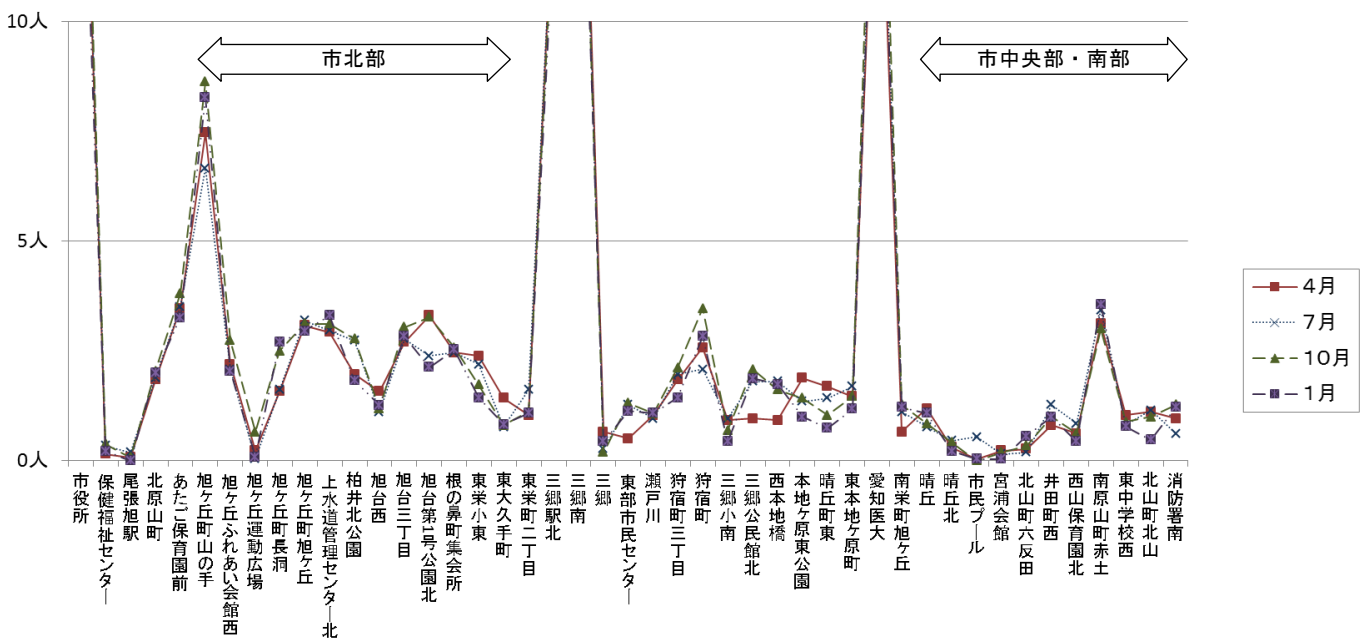
カ 東ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「北原山町」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「三郷南」「愛知医大」となっており、特に大型商業施設のある「三郷南」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「旭ヶ丘運動広場」「東大久手町」「東栄町二丁目」「東部市民センター」「瀬戸川」「三郷小南」「南栄町旭ヶ丘」「晴丘北」「宮浦会館」「北山町六反田」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」「消防署南」となっており、乗車と同様、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



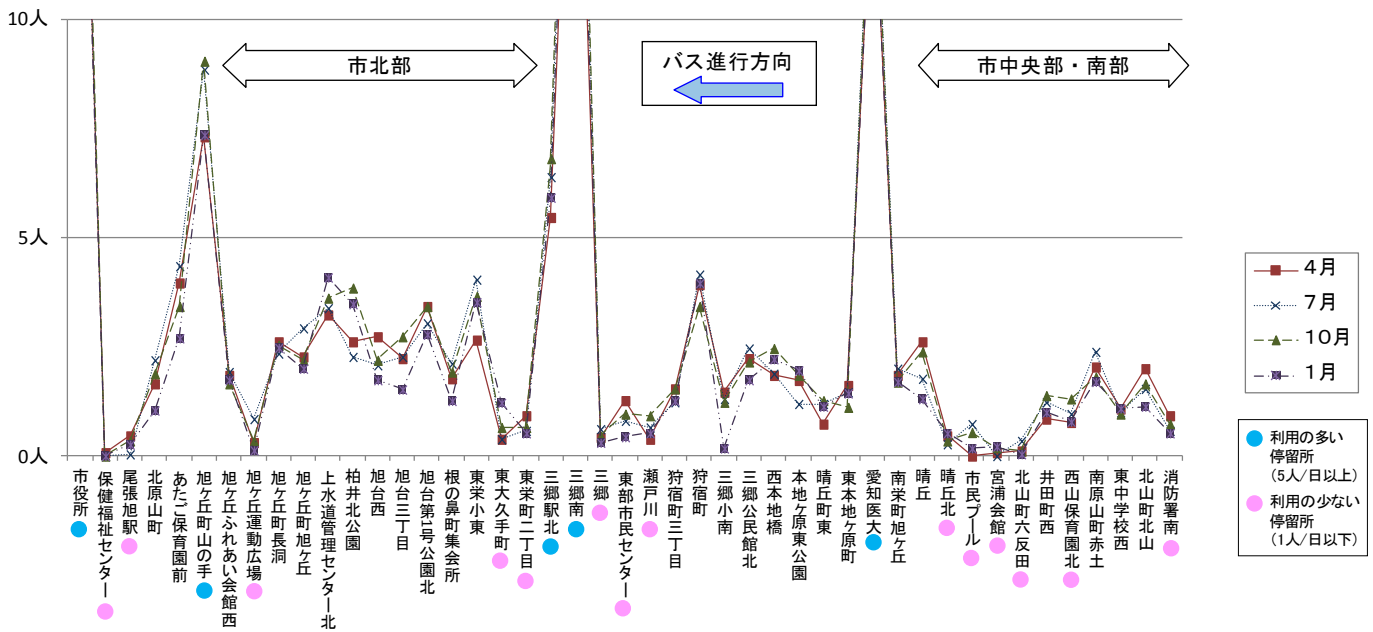
参考 平成25年度東ルート右回り利用状況【降車】



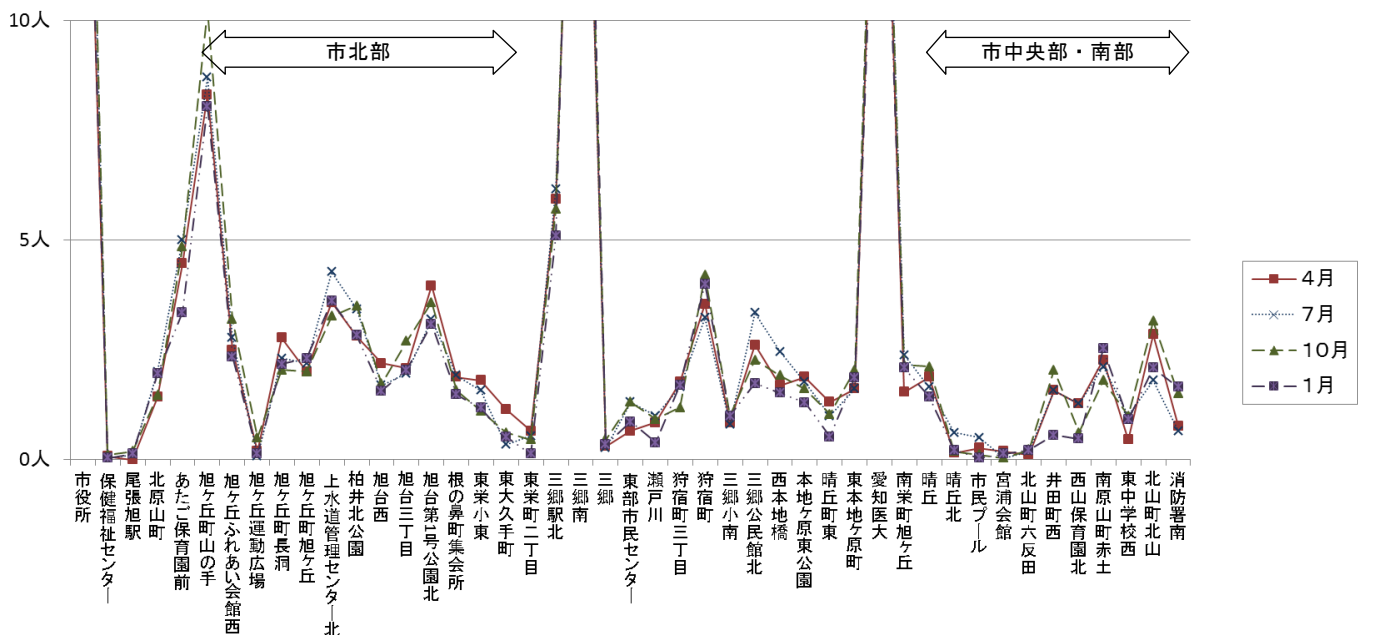
キ 東ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「三郷南」「愛知医大」となっており、「右回り」の降車と同様、大型商業施設のある「三郷南」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「旭ヶ丘運動広場」「東大久手町」「東栄町二丁目」「三郷」「東部市民センター」「瀬戸川」「晴丘北」「市民プール」「宮浦会館」「北山町六反田」「西山保育園北」「消防署南」となっており、こちらも市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



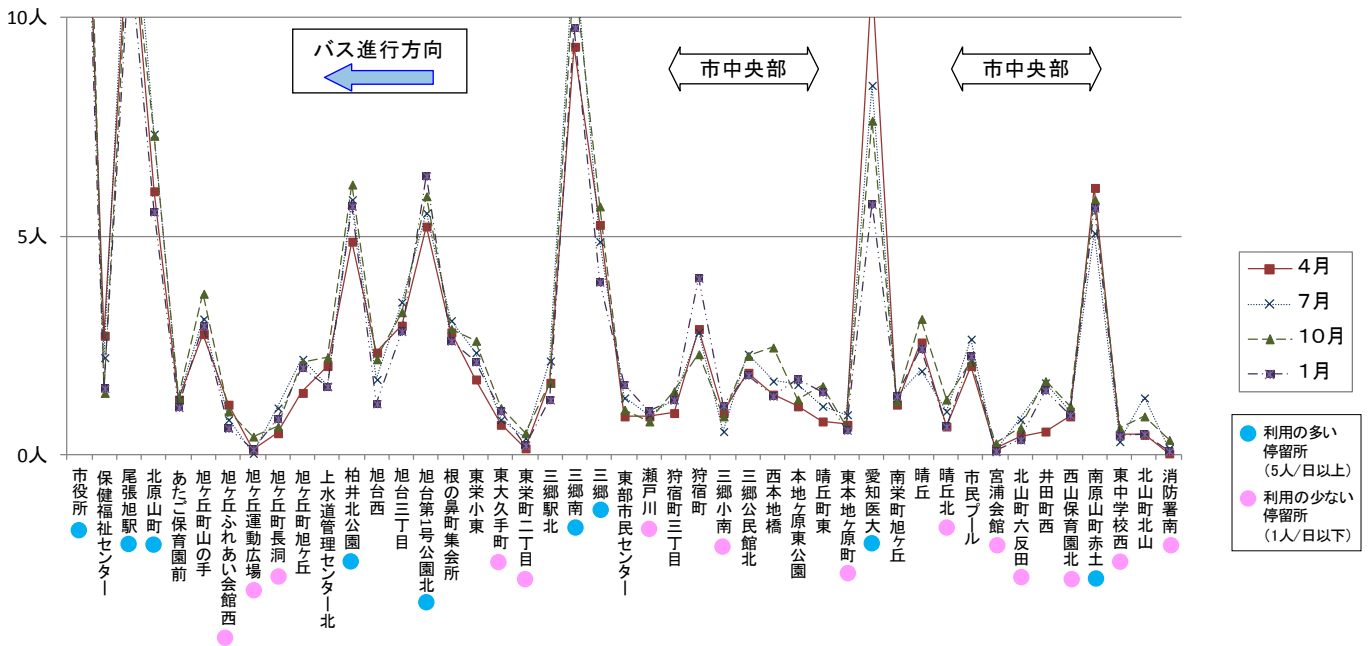
参考 平成25年度東ルート左回り利用状況【乗車】



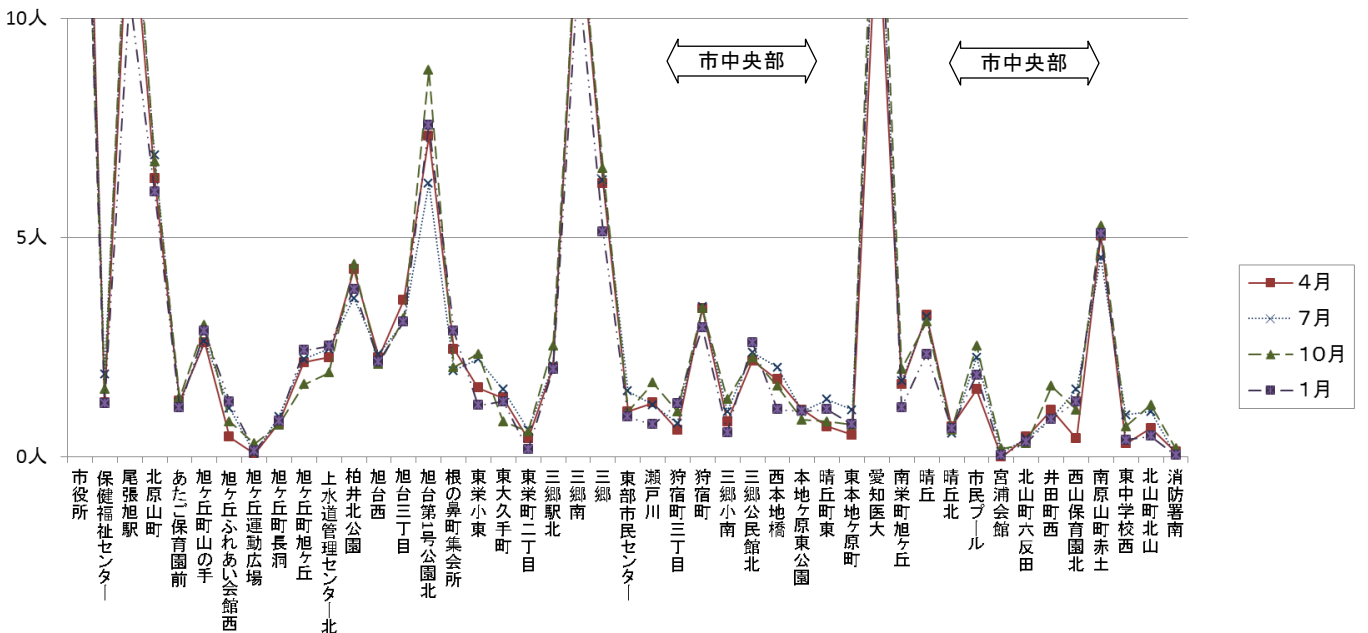
ク 東ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町」「柏井北公園」「旭台第1号公園北」「三郷南」「三郷」「愛知医大」「南原山町赤土」となっています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「旭ヶ丘ふれあい会館西」「旭ヶ丘運動広場」「旭ヶ丘町長洞」「東大久手町」「東栄町二丁目」「瀬戸川」「三郷小南」「東本地ヶ原町」「晴丘北」「宮浦会館」「北山町六反田」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」「消防署南」となっており、やはり市中央部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 平成25年度東ルート左回り利用状況【降車】



以上の結果により、西ルート及び東ルートの右回り及び左回りの乗車、降車ともに、その利用状況は、北部地域での利用者数が多く、中央部地域や南部地域での利用者数が比較的少ない状況にあります。

また、平成25年4月～平成26年3月の利用状況と平成26年4月～平成27年3月までの利用状況を比較すると、ルート変更や停留所位置の変更が行われていないため、停留所別ではグラフの形状がほとんど同じであり、バス利用者の移動実態が明確になっています。

▽ 住宅地における停留所の利用については、城山町、平子町、旭ヶ丘町、旭台といった市北部の丘陵地域にある住宅地に加え、南本地ヶ原、緑町緑ヶ丘、本地住宅前といった南部での利用が多いのに対し、井田町、瀬戸川町、北山町といった市中央部の住宅地や西の野町では少数にとどまっています。

▽ 「市役所」停留所は、最も利用者数が多い停留所となっています。ここでは、東西ルートでの乗り継ぎが可能なことや、市役所、市民会館、体育館などの施設や尾張旭駅に隣接していることが多い理由と考えられます。

▽ 「旭労災病院」や「愛知医大」などの病院に隣接した停留所の利用は、乗車、降車ともに多く、通院などに市営バスを利用する人にとって重要な停留所となっています。

▽ 大型商業施設内に設置した「三郷南」の利用者数も「右回り」「左回り」ともに多く、こちらも重要な停留所となっています。

(6) ルート別の停留所利用の状況

平成26年4月から平成27年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	22.7
2	旭労災病院	8.5
3	県営住宅	6.4
4	平子町長池上	5.9
5	城山町城山	4.8
6	旭前駅	4.8
7	旭前駅	3.9
8	文化会館	3.7
9	東名西公園	3.0
10	城山小前	3.0
11	印場駅	3.0
12	本地住宅前	2.5
13	平子町中通	2.5
14	桜ヶ丘町一丁目	2.5
15	北本地ヶ原町	2.5
16	晴丘	2.5
17	城前町茅池	2.4
18	小幡緑地東園	2.4
19	長池北	2.3
20	南本地ヶ原町	2.3
21	西部浄化センター	2.3
22	桜ヶ丘町三丁目	2.1
23	平子公民館	1.8
24	長坂町西	1.8
25	労災病院口	1.6
26	どうだん亭	1.6
27	霞ヶ丘町南	1.5
28	東山町	1.4
29	二反田公園東	1.4
30	瑞鳳橋	1.4
31	白鳳町一丁目	1.3
32	緑町緑ヶ丘	1.3
33	南新町中畑	1.2
34	本地住宅南	1.2
35	庄南町	1.2
36	渋川福祉センター西	1.2
37	本地ヶ原	1.1
38	吉岡公園南	1.1
39	新池交流館	1.0
40	城山公園	0.9
41	印場橋南	0.9
42	本地原小	0.9
43	旭野高東	0.7
44	旭前駅北	0.7
45	西山町南	0.7
46	西中北交差点	0.5
47	名古屋産業大前	0.4
48	保健福祉センター	0.4
49	東印場町二反田	0.4
50	尾張旭駅	0.2
51	西の野町	0.1

番号	停留所	降車
1	市役所	29.0
2	尾張旭駅	10.4
3	旭労災病院	7.9
4	印場駅	4.8
5	旭前駅	4.4
6	緑町緑ヶ丘	4.4
7	本地住宅前	4.3
8	南本地ヶ原町	4.0
9	旭前駅	3.0
10	南新町中畑	2.8
11	庄南町	2.7
12	平子町長池上	2.7
13	本地原小	2.4
14	県営住宅	2.4
15	印場橋南	2.0
16	西部浄化センター	2.0
17	晴丘	1.9
18	長坂町西	1.9
19	渋川福祉センター西	1.9
20	保健福祉センター	1.8
21	平子町中通	1.8
22	本地住宅南	1.6
23	西の野町	1.5
24	城山町城山	1.5
25	桜ヶ丘町一丁目	1.4
26	東山町	1.3
27	吉岡公園南	1.2
28	城前町茅池	1.1
29	北本地ヶ原町	1.1
30	新池交流館	1.1
31	瑞鳳橋	1.1
32	文化会館	1.0
33	小幡緑地東園	1.0
34	平子公民館	0.9
35	旭前駅北	0.9
36	西山町南	0.8
37	東名西公園	0.8
38	城山公園	0.8
39	名古屋産業大前	0.7
40	労災病院口	0.7
41	城山小前	0.7
42	二反田公園東	0.7
43	本地ヶ原	0.7
44	旭野高東	0.6
45	白鳳町一丁目	0.6
46	長池北	0.5
47	桜ヶ丘町三丁目	0.5
48	どうだん亭	0.5
49	霞ヶ丘町南	0.4
50	東印場町二反田	0.3
51	西中北交差点	0.3

○ 西ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	34.4
2	旭労災病院	7.4
3	本地住宅前	6.4
4	印場駅	5.0
5	旭前駅	4.6
6	南新町中畑	4.4
7	尾張旭駅	4.0
8	緑町緑ヶ丘	3.9
9	平子町長池上	3.8
10	南本地ヶ原町	3.6
11	晴丘	3.4
12	本地原小	3.3
13	県営住宅	3.2
14	印場橋南	2.3
15	平子町中通	2.3
16	長坂町西	2.2
17	西部浄化センター	2.2
18	庄南町	2.1
19	吉岡公園南	1.9
20	旭前駅	1.9
21	城前町茅池	1.6
22	城山町城山	1.6
23	渋川福祉センター西	1.5
24	北本地ヶ原町	1.5
25	本地住宅南	1.3
26	平子公民館	1.3
27	二反田公園東	1.3
28	小幡緑地東園	1.1
29	西山町南	1.0
30	東名西公園	1.0
31	桜ヶ丘町一丁目	1.0
32	城山小前	0.9
33	東山町	0.9
34	桜ヶ丘町三丁目	0.9
35	長池北	0.8
36	旭前駅北	0.8
37	新池交流館	0.8
38	保健福祉センター	0.7
39	白鳳町一丁目	0.7
40	城山公園	0.7
41	どうだん亭	0.6
42	霞ヶ丘町南	0.6
43	旭野高東	0.6
44	西の野町	0.6
45	名古屋産業大前	0.5
46	労災病院口	0.5
47	西中北交差点	0.5
48	東印場町二反田	0.5
49	本地ヶ原	0.5
50	瑞鳳橋	0.4
51	文化会館	0.2

番号	停留所	降車
1	市役所	19.4
2	旭労災病院	9.6
3	旭前駅	6.5
4	旭前駅	5.9
5	県営住宅	5.7
6	文化会館	5.4
7	平子町長池上	4.9
8	印場駅	4.7
9	城山町城山	4.7
10	桜ヶ丘町一丁目	4.6
11	南本地ヶ原町	4.5
12	晴丘	3.9
13	労災病院口	3.3
14	城山小前	3.2
15	西部浄化センター	2.9
16	平子町中通	2.4
17	城前町茅池	2.2
18	長池北	2.1
19	北本地ヶ原町	1.9
20	どうだん亭	1.8
21	東名西公園	1.8
22	二反田公園東	1.8
23	小幡緑地東園	1.6
24	桜ヶ丘町三丁目	1.6
25	渋川福祉センター西	1.6
26	本地住宅前	1.5
27	平子公民館	1.5
28	本地住宅南	1.4
29	新池交流館	1.3
30	霞ヶ丘町南	1.3
31	東山町	1.0
32	旭野高東	1.0
33	白鳳町一丁目	1.0
34	南新町中畑	0.9
35	東印場町二反田	0.8
36	本地原小	0.8
37	緑町緑ヶ丘	0.8
38	城山公園	0.8
39	庄南町	0.8
40	西山町南	0.7
41	本地ヶ原	0.6
42	瑞鳳橋	0.6
43	長坂町西	0.4
44	西中北交差点	0.4
45	吉岡公園南	0.4
46	旭前駅北	0.3
47	印場橋南	0.3
48	名古屋産業大前	0.3
49	保健福祉センター	0.2
50	西の野町	0.2
51	尾張旭駅	0.1

○ 東ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	24.1
2	三郷南	12.1
3	愛知医大	9.6
4	北原山町	8.7
5	旭台第1号公園北	6.3
6	尾張旭駅	5.2
7	柏井北公園	4.9
8	旭ヶ丘町山の手	4.5
9	上水道管理センター北	4.2
10	旭台3丁目	3.6
11	南原山町赤土	3.4
12	三郷	3.0
13	旭台西	2.6
14	狩宿町	2.5
15	根の鼻町集会所	2.3
16	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.2
17	市民プール	2.1
18	三郷公民館北	2.1
19	あたご保育園前	1.8
20	晴丘	1.6
21	東栄小東	1.6
22	井田町西	1.3
23	本地ヶ原東公園	1.3
24	狩宿町三丁目	1.3
25	三郷駅北	1.2
26	旭ヶ丘町長洞	1.1
27	西本地橋	1.0
28	晴丘町東	1.0
29	東部市民センター	1.0
30	南栄町旭ヶ丘	0.9
31	瀬戸川	0.9
32	東本地ヶ原町	0.8
33	三郷小南	0.8
34	北山町北山	0.8
35	晴丘北	0.7
36	西山保育園北	0.7
37	旭ヶ丘ふれあい会館西	0.6
38	東大久手町	0.6
39	保健福祉センター	0.6
40	東中学校西	0.5
41	北山町六反田	0.4
42	東栄町二丁目	0.4
43	旭ヶ丘運動広場	0.2
44	消防署南	0.1
45	宮浦会館	0.1

番号	停留所	降車
1	三郷南	17.3
2	市役所	14.8
3	愛知医大	13.9
4	三郷駅北	13.9
5	旭ヶ丘町山の手	7.4
6	南原山町赤土	3.6
7	上水道管理センター北	3.5
8	狩宿町	3.0
9	あたご保育園前	3.0
10	旭台3丁目	2.9
11	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.8
12	旭台第1号公園北	2.7
13	根の鼻町集会所	2.5
14	旭ヶ丘ふれあい会館西	2.0
15	柏井北公園	2.0
16	東本地ヶ原町	2.0
17	旭ヶ丘町長洞	2.0
18	晴丘	2.0
19	三郷公民館北	1.9
20	北原山町	1.9
21	東栄町二丁目	1.6
22	東栄小東	1.6
23	狩宿町三丁目	1.5
24	旭台西	1.5
25	西本地橋	1.4
26	本地ヶ原東公園	1.2
27	東大久手町	1.0
28	晴丘町東	1.0
29	南栄町旭ヶ丘	1.0
30	井田町西	0.9
31	西山保育園北	0.9
32	三郷小南	0.8
33	東部市民センター	0.8
34	瀬戸川	0.7
35	東中学校西	0.7
36	消防署南	0.6
37	北山町北山	0.6
38	晴丘北	0.5
39	三郷	0.4
40	北山町六反田	0.3
41	旭ヶ丘運動広場	0.3
42	市民プール	0.2
43	尾張旭駅	0.2
44	宮浦会館	0.2
45	保健福祉センター	0.1

○ 東ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	三郷南	22.3
2	市役所	19.8
3	愛知医大	15.1
4	旭ヶ丘町山の手	8.4
5	三郷駅北	6.2
6	上水道管理センター北	3.8
7	狩宿町	3.8
8	あたご保育園前	3.5
9	旭台第1号公園北	3.2
10	東栄小東	3.1
11	柏井北公園	3.1
12	旭ヶ丘町長洞	2.6
13	旭台3丁目	2.4
14	西本地橋	2.3
15	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.2
16	旭ヶ丘ふれあい会館西	2.1
17	晴丘	2.1
18	三郷公民館北	2.1
19	南原山町赤土	1.9
20	旭台西	1.9
21	北山町北山	1.8
22	根の鼻町集会所	1.7
23	北原山町	1.7
24	本地ヶ原東公園	1.7
25	南栄町旭ヶ丘	1.5
26	狩宿町三丁目	1.5
27	東本地ヶ原町	1.4
28	井田町西	1.2
29	晴丘町東	1.1
30	東中学校西	1.1
31	三郷小南	1.0
32	西山保育園北	0.9
33	東部市民センター	0.8
34	消防署南	0.7
35	東大久手町	0.7
36	東栄町二丁目	0.6
37	瀬戸川	0.6
38	三郷	0.5
39	晴丘北	0.4
40	旭ヶ丘運動広場	0.4
41	尾張旭駅	0.3
42	市民プール	0.3
43	北山町六反田	0.2
44	宮浦会館	0.2
45	保健福祉センター	0.0

番号	停留所	降車
1	市役所	19.4
2	尾張旭駅	12.3
3	三郷南	10.3
4	愛知医大	9.1
5	旭台第1号公園北	6.8
6	北原山町	6.6
7	南原山町赤土	6.0
8	柏井北公園	5.6
9	三郷	5.3
10	旭台3丁目	3.3
11	狩宿町	3.2
12	旭ヶ丘町山の手	3.1
13	根の鼻町集会所	2.7
14	晴丘	2.6
15	東栄小東	2.4
16	市民プール	2.2
17	三郷公民館北	2.1
18	旭台西	2.0
19	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.0
20	上水道管理センター北	1.9
21	三郷駅北	1.8
22	西本地橋	1.7
23	保健福祉センター	1.5
24	井田町西	1.4
25	東部市民センター	1.4
26	本地ヶ原東公園	1.3
27	南栄町旭ヶ丘	1.3
28	狩宿町三丁目	1.2
29	あたご保育園前	1.2
30	晴丘町東	1.1
31	西山保育園北	1.0
32	晴丘北	1.0
33	三郷小南	0.9
34	旭ヶ丘ふれあい会館西	0.9
35	東大久手町	0.9
36	瀬戸川	0.9
37	東本地ヶ原町	0.9
38	旭ヶ丘町長洞	0.8
39	北山町北山	0.8
40	北山町六反田	0.5
41	東栄町二丁目	0.5
42	東中学校西	0.4
43	消防署南	0.2
44	旭ヶ丘運動広場	0.1
45	宮浦会館	0.1

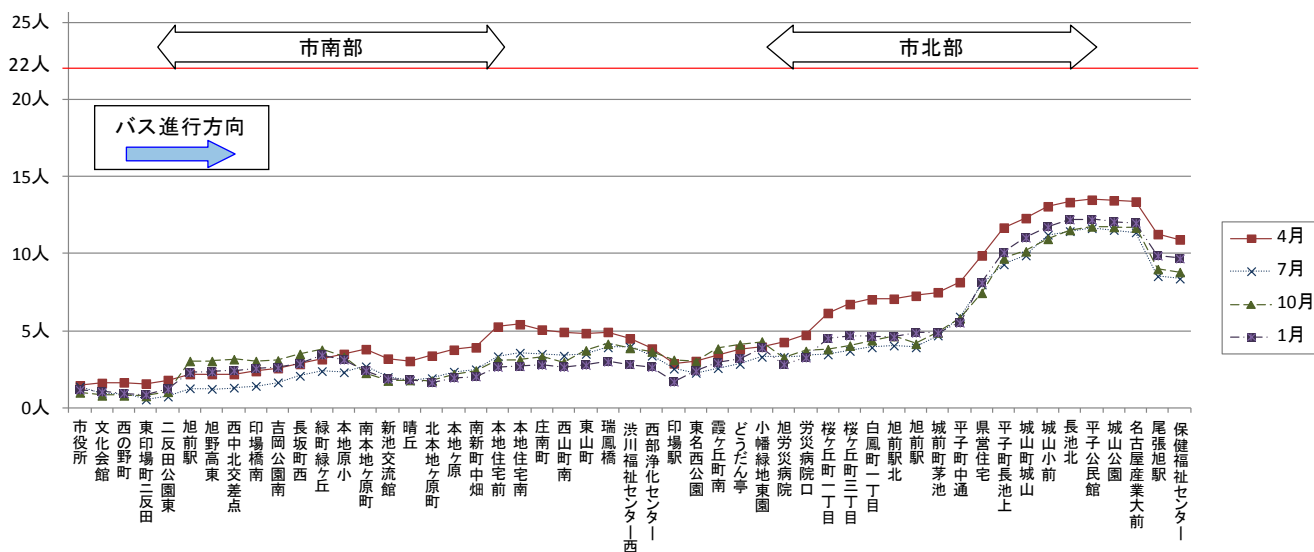
(7) 平日第2便の平均乗車人員の状況

平成26年4月、7月、10月及び平成27年1月における、西ルート及び東ルートの便別利用者数が最も多い平日第2便の平均乗車人員を、それぞれグラフで示しました。なお、グラフの数値はバスが各停留所を発車した際のバス車内の平均乗車人員を表し、赤線はバス車両の定員（西ルートは22人、東ルートは26人）を表しております。

ア 西ルート（右回り）

「県営住宅」～「市役所」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「尾張旭駅」や「市役所」への利用が多い傾向にあります。

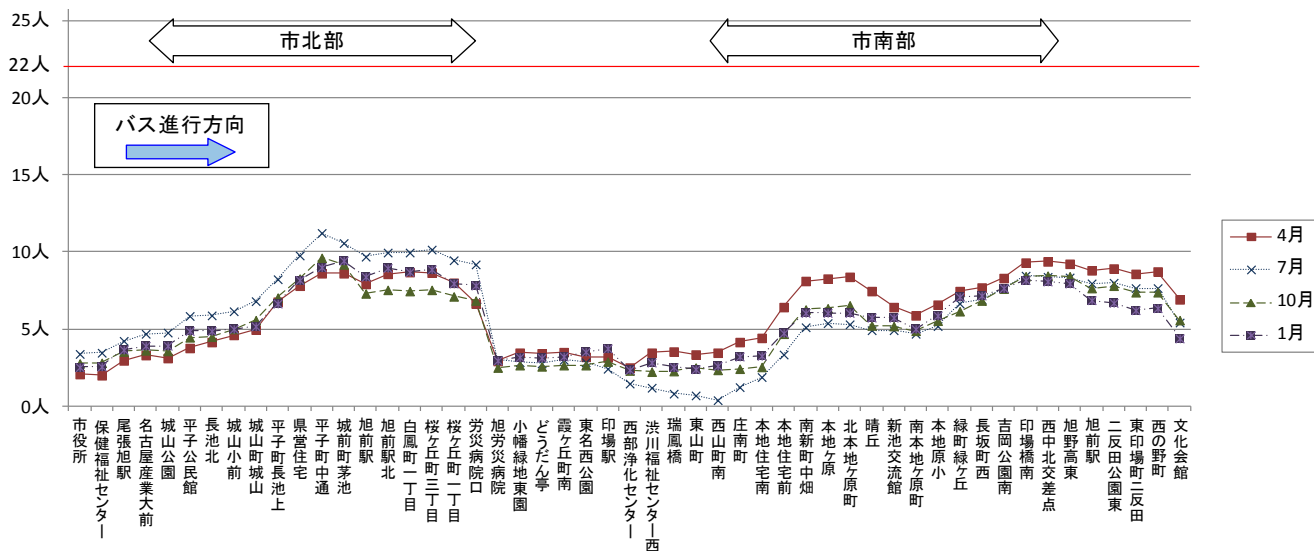
平日第2便の乗車人員<西ルート(右回り)>



イ 西ルート（左回り）

「平子町長池上」～「旭労災病院」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「旭労災病院」への利用が多い傾向にあります。

平日第2便の乗車人員<西ルート(左回り)>

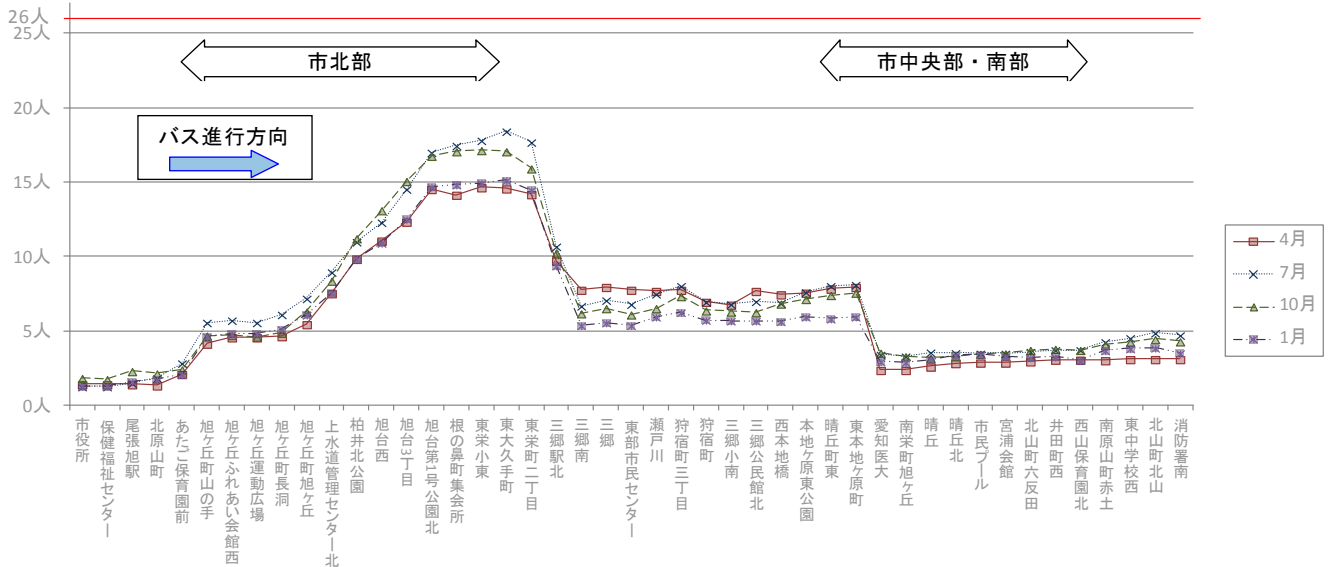


ウ 東ルート（右回り）

「旭ヶ丘町旭ヶ丘」～「三郷南」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「三郷駅北」や「三郷南」「愛知医大」への利用が多い傾向にあります。

特に「旭台第1号公園北」～「三郷駅北」間ではどの月も平均乗車人員が15人を超えていることから、積み残し発生の可能性は高いことが考えられます。

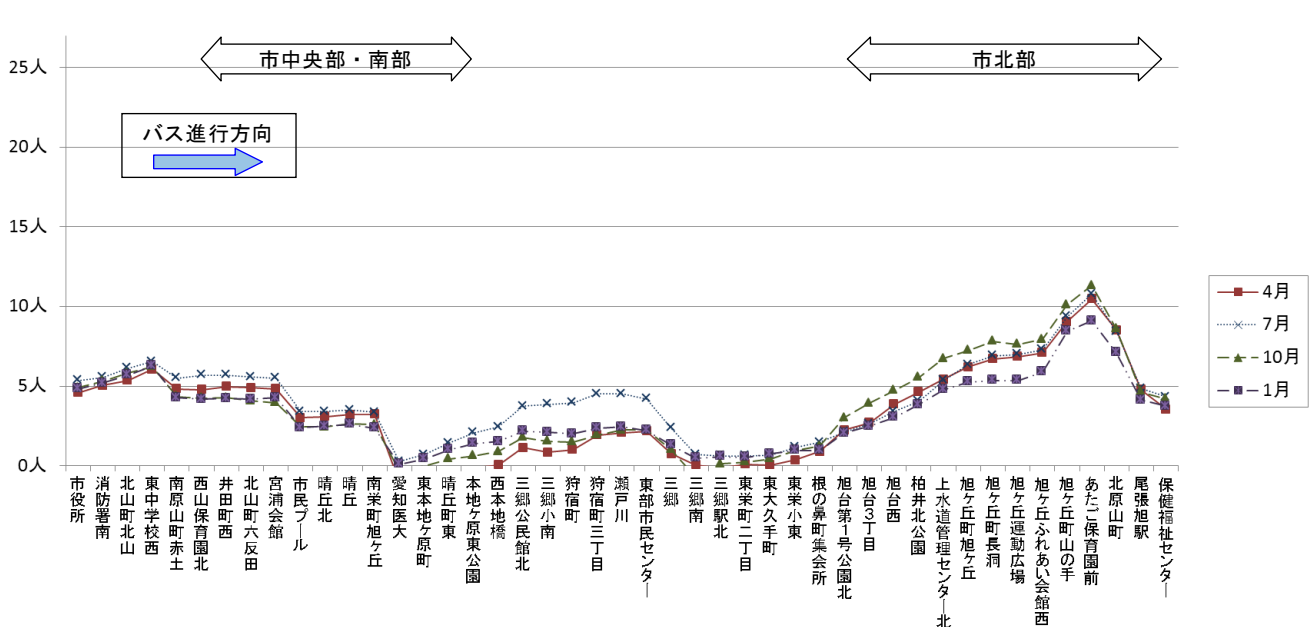
平日第2便の乗車人員<東ルート(右回り)>



エ 東ルート（左回り）

「市役所」～「愛知医大」間と「旭ヶ丘町山の手」～「尾張旭駅」間で平均乗車人員が多くなっており、市中央部・南部から「愛知医大」や市北部の住宅地から「尾張旭駅」「市役所」への利用が多い傾向にあります。

平日第2便の乗車人員<東ルート(左回り)>



以上の結果により、西ルート及び東ルートの便別利用者数が最も多い平日第2便の平均乗車人員は、北部地域からの利用者数が多く、北部地域から市中央部や主要な病院までの区間は乗車人員が多い状況にあります。また、平成26年4月、7月、10月及び平成27年1月のグラフの形状がほぼ同じであることから、平均乗車人員の傾向はどの時期も同じであると言えます。

▽ どのルートでも北部地域の住宅地における停留所から多くの利用者が乗車し、徐々に平均乗車人員が多くなっています。

▽ 「市役所」「尾張旭駅」「旭労災病院」「愛知医大」「三郷駅北」「三郷南」などの停留所で多くの利用者が降車し、各停留所を過ぎてからは平均乗車人員が少なくなっています。

▽ 特に東ルートの右回りの「旭台第1号公園北」～「三郷駅北」間では平均乗車人員が15人を超え、定員の26人に近づいていることから、積み残しが発生する可能性が高い状況であると考えられます。

(8) 曜日別利用者数の状況

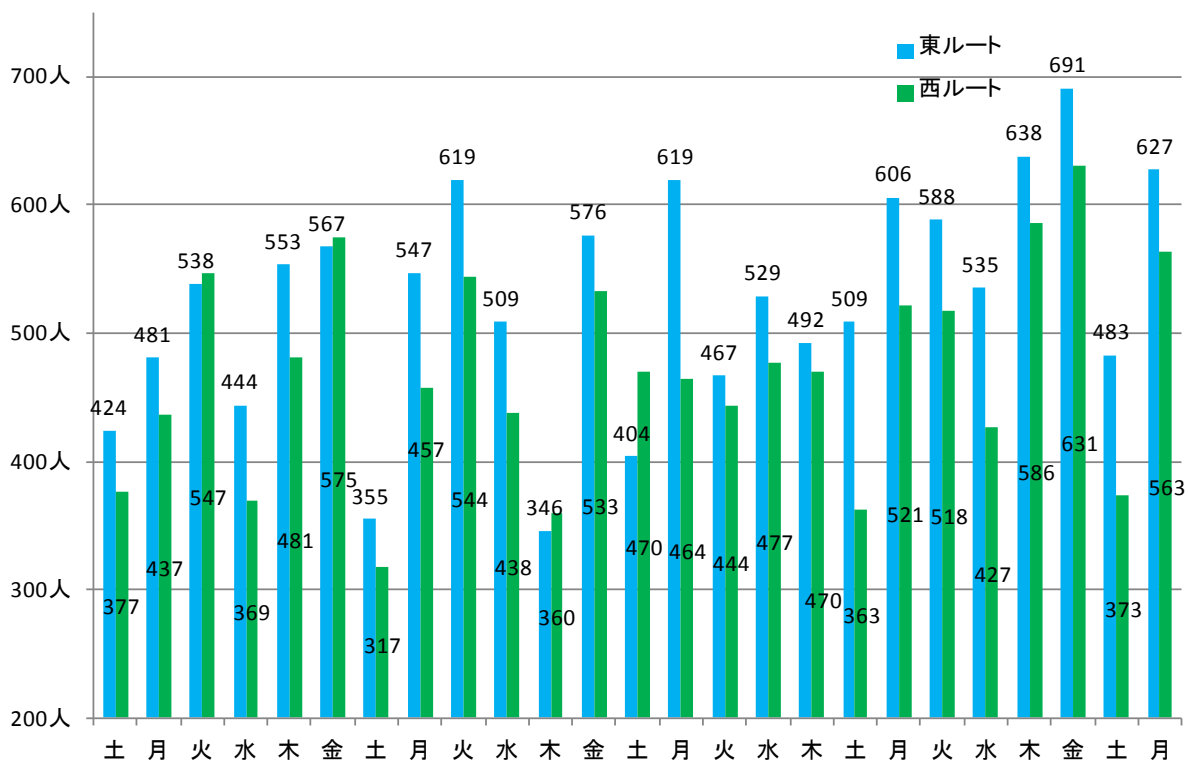
平成27年3月の1か月間の利用者数をグラフで示しました。

平日に比べ土曜日の利用者数が少なくなっています。これは、病院の休みや家族での外出機会がその要因の一つと考えられます。



※西ルート、東ルートの乗車降車の合計値にて作成

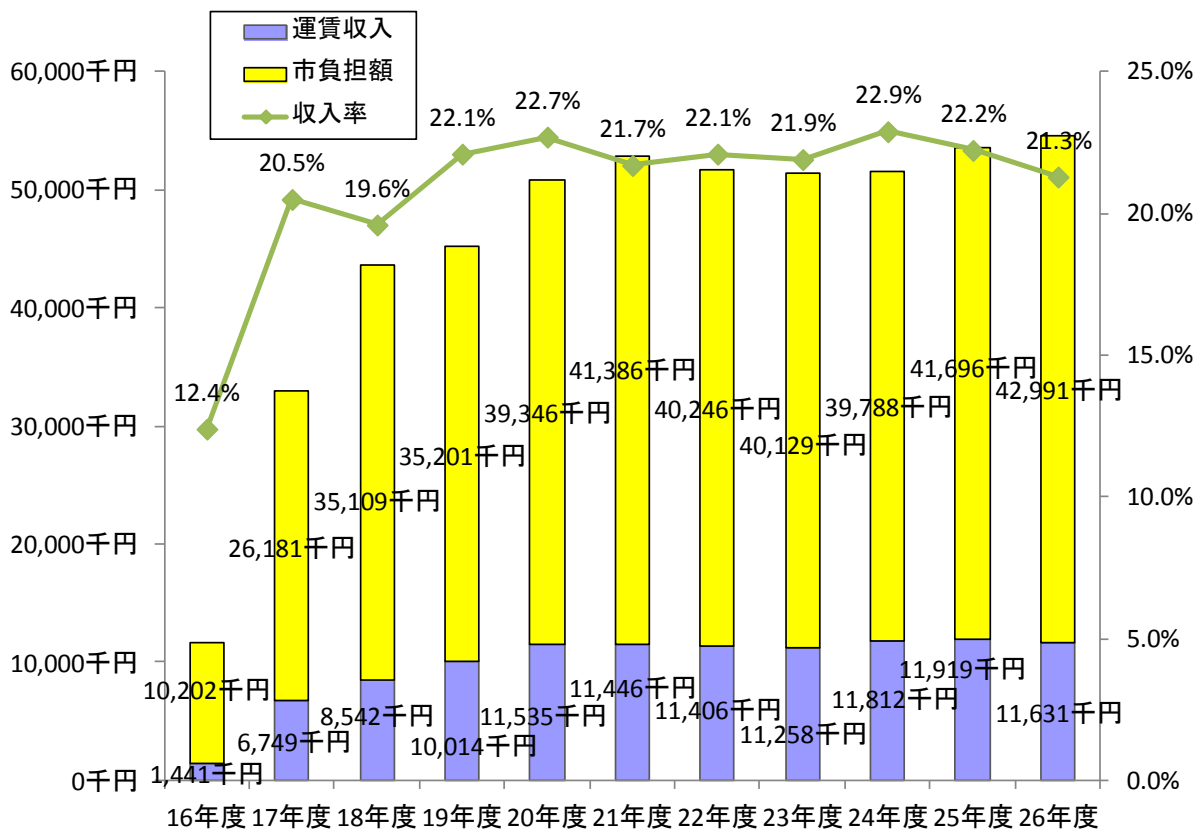
参考 曜日別利用状況【平成26年3月】



4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

試験運行の開始以降、ルートの実質やマイクロバスの導入などを進めた結果、平成20年度までは運行経費、利用者数、運賃収入、収入率は年々増加傾向にありました。しかし、平成21年度以降において、運賃収入は頭打ちの傾向がみられます。しかし、平成24年度以降は収入率が減少傾向にあります。



- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化
- ※ 23年度からは、市負担額に東ルート運行経費に対する国庫補助を含む

参考 利用者一人当たりの運行経費推移

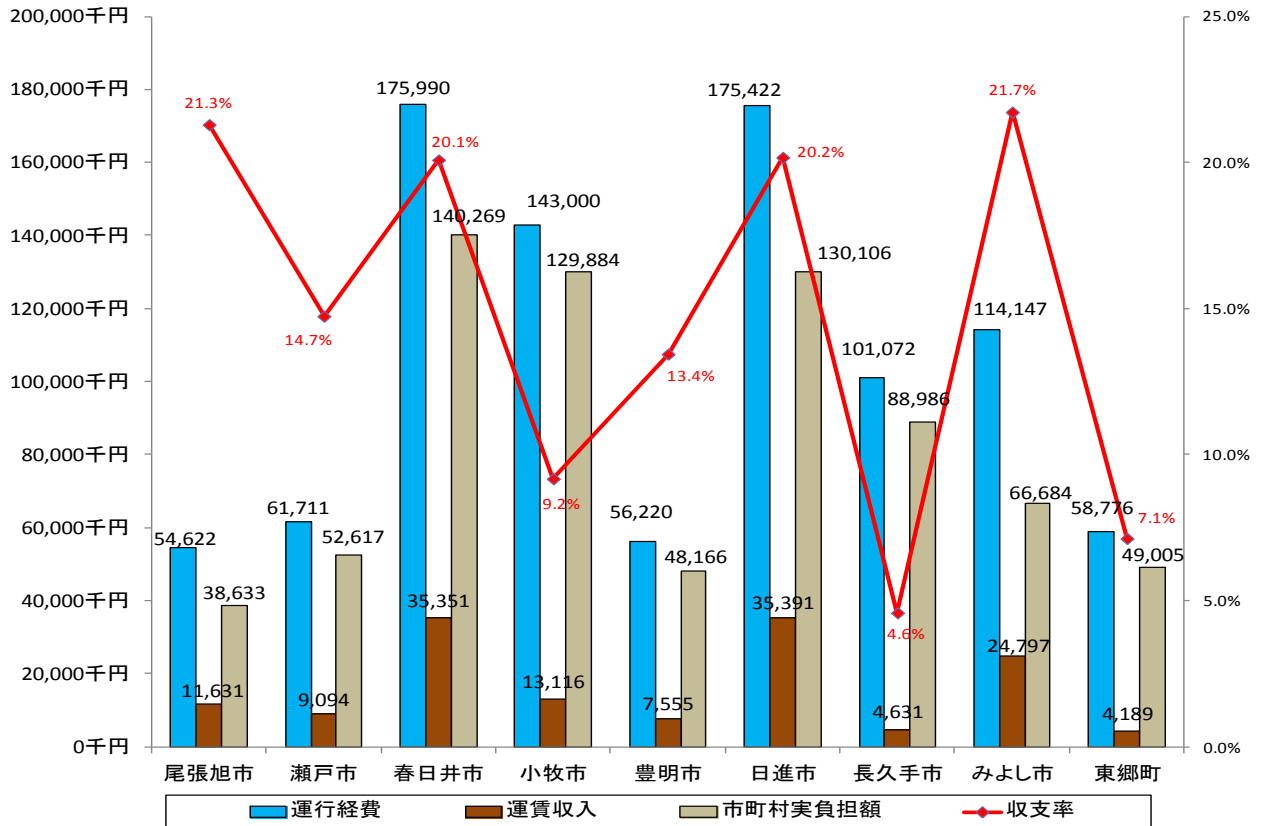
単位：人、円

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21
利用者数	14,995	70,540	86,793	107,263	132,653	135,625
利用者一人当たりの運行経費	776	467	503	422	384	390
年度	H22	H23	H24	H25	H26	
利用者数	138,273	141,731	148,868	153,553	152,693	
利用者一人当たりの運行経費	374	363	347	349	358	

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

近隣市町のコミュニティバスにおける平成26年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。

○ 運行経費等の状況



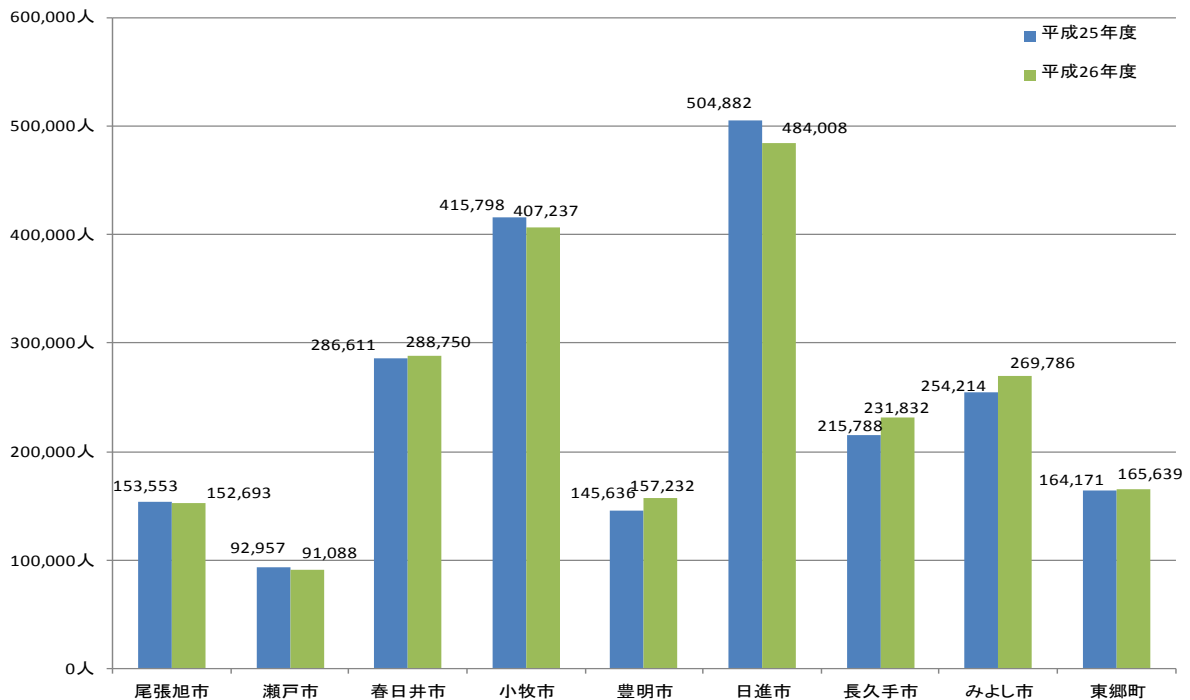
※ 「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について（県地域振興部交通対策課）」より

注) ・各市町により、基本運賃や運賃特例などに違いがあるため、一概に数値のみの比較は難しい。

- ・東郷町は、市町村が自ら有償運送を行っているもの（道路運送法79条登録（旧80条許可）による運行）であり、その他の市町は、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）
- ・国県からの補助を含む場合、運行経費と運賃収入+市町村実負担額が一致しない。

○ 年間利用者数

単位：人



○ 近隣市町のコミュニティバスの内容（平成26年度）

市町村名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通空白地区の解消	瀬戸自動車運送(株)
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	公共交通空白地域の解消 昼間帯の移動手段の確保による日常生活の 利便性向上	名鉄バス(株)
小牧市	こまき巡回バス	交通空白地区の解消 公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	交通弱者の社会参加促進 公共施設への利便性の向上 交通空白地区の解消	名鉄バス(株)
日進市	くるりんばす	公共交通空白地域の解消 市民の社会参加・交流の促進	名鉄バス(株)
長久手市	Nーバス	交通空白地区の解消 公共施設への利便性向上 交通弱者の社会参加促進 子育て支援 通勤・通学者の朝夕の利便性の向上	名鉄バス(株)
みよし市	さんさんバス	交通空白地区の解消 交通弱者の社会参加支援 地域間の交流促進	愛知つばめ交通(株)
東郷町	じゅんかい君	交通空白地区の解消 町内の活性化	豊栄交通(株)
尾張旭市	あさび一号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	使用車 両台数	基本 運行日	1日運行 回数	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	5台	毎日 (年末年始を除く) 外	6回 外	100円	障害者は半額、身体障害者手帳等 所持者は、付添も半額 1歳未満児無料 1歳以上6歳未満児は6歳以上に同 伴同伴される場合無料(2名まで)
春日井市	4本	8台	毎日 (年末年始を除く)	15回 外	200円	未就学児、障がい者(手帳所持者)と その付添人1名まで無料 小人、運転免許自主返納者カード、 高齢者カード、マタニティカード所持 者所持者100円
小牧市	8本	8台	毎日 (年末年始を除く)	10回 外	200円	乗継自由。小学生半額。幼児(小学 生未満)、65歳以上無料。 ※身体障害者手帳等を提示すれば 本人及び付添1名無料。 ※ピーチバス等の定期券を提示すれ ば無料。
豊明市	7本	3台	毎日 (年末年始を除く)	5回 外	100円	市内在住で中学生以下・身体障害者 手帳等を携帯している方と付き添い の方1名無料
日進市	8本	8台	毎日 (年末年始を除く)	11回 外	100円 外	他のコースへ当日乗り継ぐ場合、1回 のみ100円割引。中学生以下の子ど も、身体障害者手帳等所持者、介護 保険法による介護認定を受けている 者及びその付き添い1名は無料。運 転免許自主返納者は3ヵ月間無料。
長久手市	10本	5台	毎日 (年末年始を除く)	16回 外	100円	中学生以下、未就学児1人につき付 添1人、妊婦、身体障害者手帳等所 有者と付添1名、市発行「あつたかあ ど」携帯者(高齢者・障害者用)無料
みよし市	3本	7台	毎日 (年中無休)	12.5回 外	100円	未就学児、介助者、バス乗合タク シー間の乗り継ぎ無料
東郷町	4本	4台	毎日 (年末年始を除く)	12回 外	100円	障害者と付添1人、中学生以下の子 ども、65歳以上無料
尾張旭市	2本	4台	月～土 (年末年始、祝日は運休)	6回	100円	未就学児及び障害者無料(障害者の 付添も1人まで無料)

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

○ 利用者アンケート

利用者からの意見収集により、市営バス運行に係る利用者の属性と利用状況を明らかにし、運行の課題等を抽出することを目的として、下記のとおり利用者アンケートを実施しました。

1 調査期日

平成26年12月4日（木）（天候：晴）

【(参考)平成25年度調査】

平成25年12月5日（木）（天候：雨）

2 調査方法

調査員（市営バスあさび一号を育てる会会員、市都市計画課、豊栄交通株式会社）がバスに同乗し、調査期日の利用者に対して、アンケート調査表（様式参照）を配布し、車内に設置したアンケート回収箱により回収しました。

（回収期間：12月4日～19日）

3 回収結果

(1) 西ルート（右回り）	配布枚数	48枚	回収枚数	26枚	残	52枚
(2) 西ルート（左回り）	配布枚数	65枚	回収枚数	64枚	残	35枚
(3) 東ルート（右回り）	配布枚数	49枚	回収枚数	47枚	残	51枚
(4) 東ルート（左回り）	配布枚数	59枚	回収枚数	46枚	残	41枚
合計	配布枚数	221枚	回収枚数	183枚		

(回収率 82.8%)

尾張旭市営バス あさびー号 利用者アンケート調査

このアンケートは、尾張旭市営バス あさびー号に関して、利用者の皆さまのご意見をお聞きし、今後の運行改善の参考とするために尾張旭市が実施するものです。設問が多く大変お手数をおかけしますが、ぜひご協力をお願い申し上げます。 市役所都市計画課

(当てはまる番号に○を付けてください。また、設問によっては言葉でお答え下さい。)

Q.あなたのことについてお聞きします。

①	年 齢	1 80歳以上 2 70歳代 3 60歳代 4 50歳代 5 40歳代 6 30歳代 7 20歳代 8 20歳未満
②	性 別	1 男性 2 女性
③	職 業	1 自営業 2 会社員 3 公務員 4 パート・アルバイト 5 主婦(夫) 6 学生 7 無職 8 その他()
④	郵便番号	_____ ※あなたのお住まいについて、郵便番号を記入してください。
⑤	自ら運転して使える交通手段	1 ない 2 自転車 3 バイク 4 自動車 ※該当する項目全てに○をつけてください。
⑥	尾張旭市営バスの利用回数	1 ほとんど毎日 2 週3~4回程度 3 週1~2回程度 4 月1~3回程度 5 はじめての利用
⑦	ご自宅からバス停までの時間	1 歩いて3分以内 2 歩いて3~5分 3 歩いて5~7分 4 歩いて7~10分 5 歩いて10分以上

Q.利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑧	利用する目的は何か(2つまで)	1 買い物・飲食 2 レジャー・娯楽 3 通院 4 市役所への用事(会議を含む) 5 通勤・通学 6 仕事上での移動 7 試乗 8 その他()
⑨	利用する理由は何ですか(2つまで)	1 他に交通手段がないから 2 運賃が安く経済的だから 3 利用時間がよかったから 4 出発地・目的地が停留所の近くだから 5 市営バス「あさびー号」に興味があったから 6 自動車以外出するより便利だから 7 飲酒の機会があったから 8 その他()
⑩	あさびー号の運行によって外出回数は	1 増えた 2 あまり変わらない 3 減った

Q.あなたがどのようにあさびー号を利用しているのかお聞きします。

⑪	本日の乗降内容について	乗車した停留所 _____ ⇒ 降車した(する)停留所 _____ ※停留所番号のみの記入でも結構です。	降車後、東ルートへの乗り換え 1 する 2 しない 他の電車・バスへの乗換 1 する 2 しない
⑫	本日の目的地について	_____	※ 本日の目的地について差し支えなければお答えください。 例) 市役所、〇〇ストア〇〇店、〇〇病院 地名、駅名等でも結構です。
⑬	本日の、お出かけとお帰りの交通手段をお答えください。(それぞれ2つまで)	お出かけ ⇒ { 1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車 5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他 } お帰り ⇒ { 1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車 5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他 }	
⑭	普段よく利用するバス停留所について2つまでお答えください。	一番よく利用する区間(バス停名: _____) ~ (バス停名: _____) 次によく利用する区間(バス停名: _____) ~ (バス停名: _____)	

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

4. 5. を選択されたかたは具体的に何が悪いのかご記入ください。

a	ルートについて	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
b	運行時間帯について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
c	運行ダイヤの間隔について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
d	車の乗り心地などについて	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
e	停留所の位置について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
f	停留所の間隔について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
g	運転手の対応について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
h	全体としてどう思われますか	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)

Q.最後に、あさび一号の運行経費のことについてお聞きします。

(現在あさび一号の運行経費として、年間約5,500万円必要です。)

⑮	税金を使うことに 対し、どう思われ ますか	1 もっと税金を使うべき 2 どちらかといえば税金を使うべき 3 今ぐらいが良い 4 どちらかといえば使う税金を減らすべき 5 もっと使う税金を減らすべき 6 税金を使うべきでない
⑯	現在、1回100円の料金を頂いておりますが、このバスがもっと便利になるとしたら、1回いくらまでなら払っても良いと思われますか? (※このバスの「価値」をはかるための質問です。料金改正の参考に <u>するものではありません</u> ので、ご自由な「感覚」でお答え下さい。)	1回 () 円 までなら払っても良い

その他感想、意見などをご自由にご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。

※ このアンケート用紙はご記入後、12月19日(金)までに車内の回収箱にご投函いただくか、市役所都市計画課へご持参いただけますと幸いです。

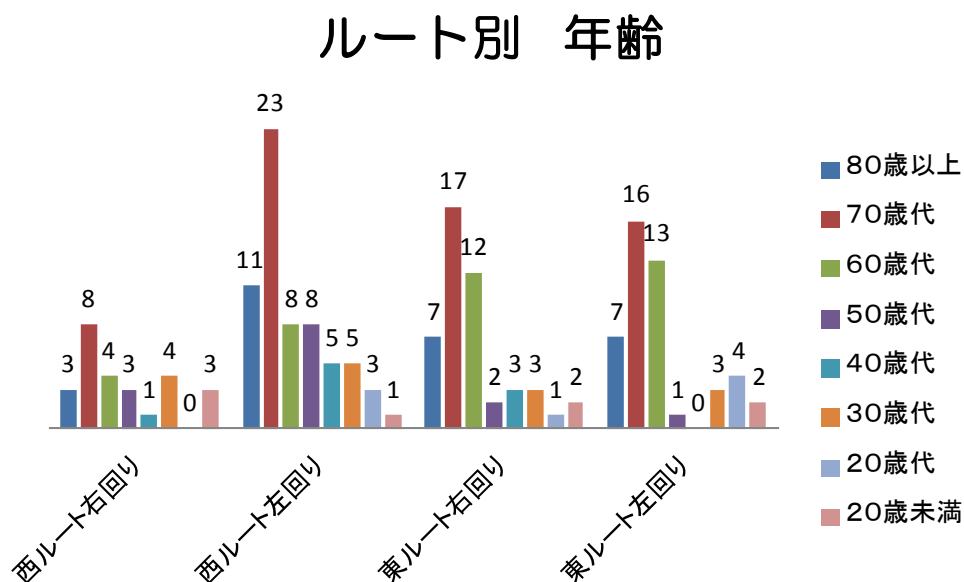
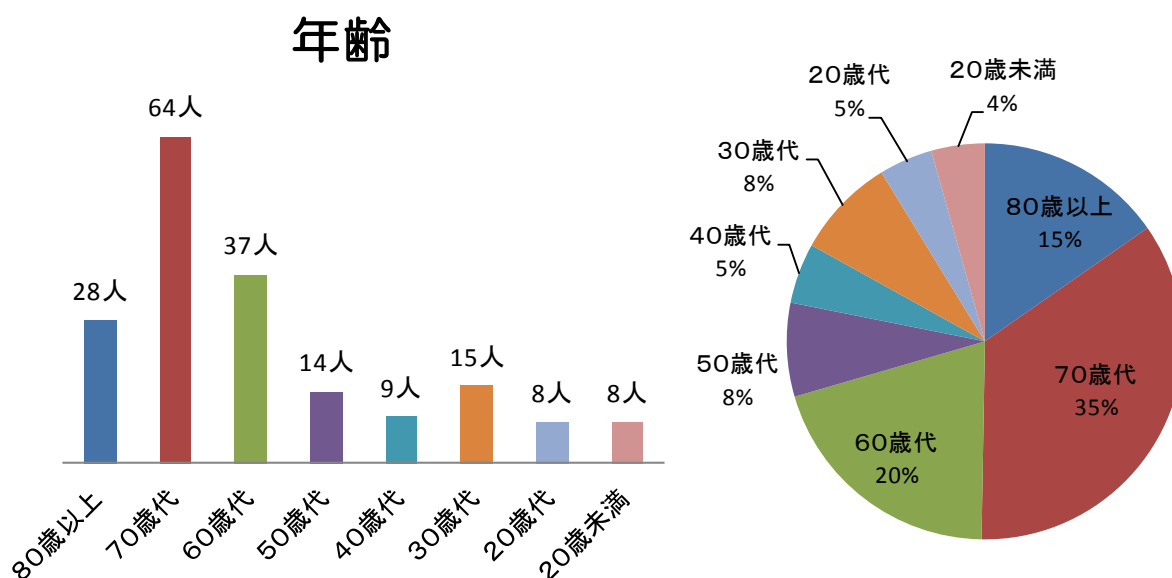
※ 回答いただいた結果は、今後の運行改善の参考とする以外には使用しません。

平成26年度利用者アンケート調査集計結果

1 集計結果

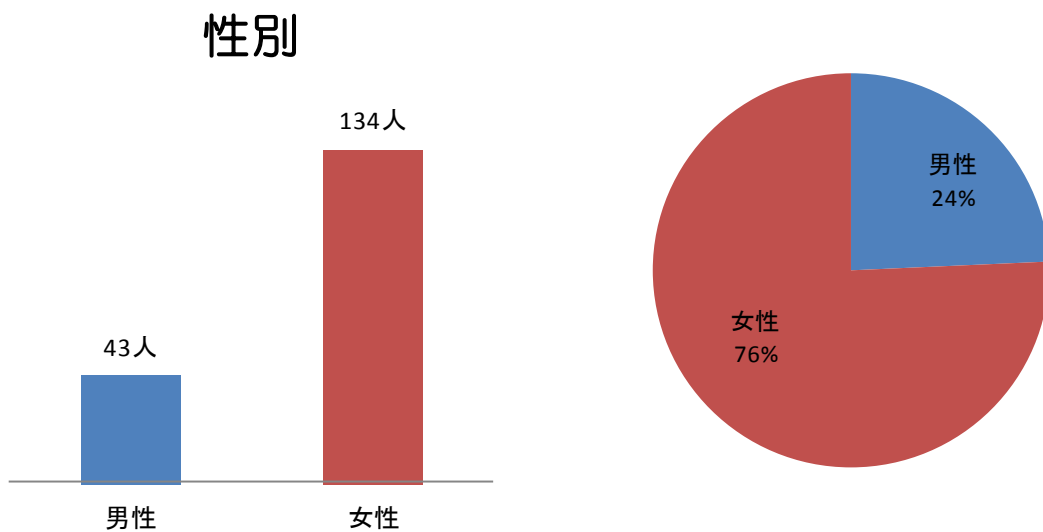
Q. あなたのことについてお聞きします。

①年齢



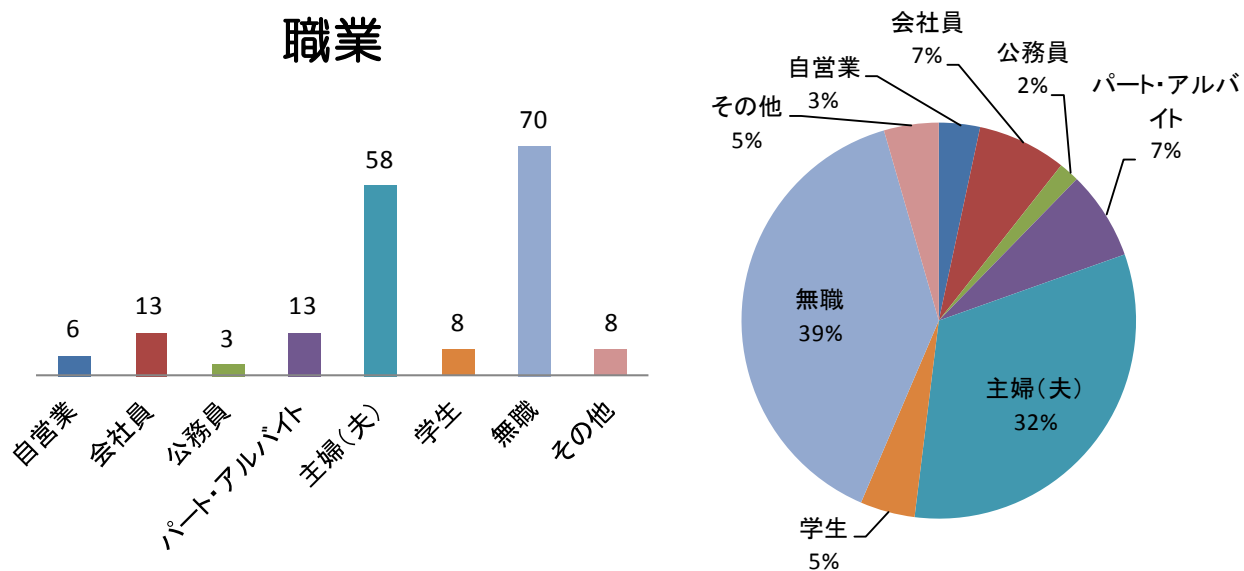
- ・年齢について、「60歳代」以上の人が約7割となっている。
- ・昨年度の結果と比較すると、「20歳代」以下の割合が約7ポイント増加している
- ・ルート別の年齢では、どのルートでも「70歳代」の利用者が最も多くなっている。

②性別



・性別について、女性の利用者が約7割となっており、昨年度と同程度である。

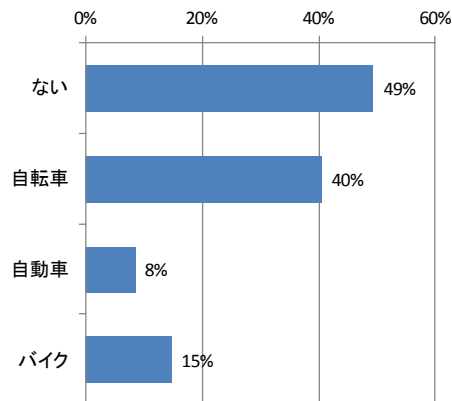
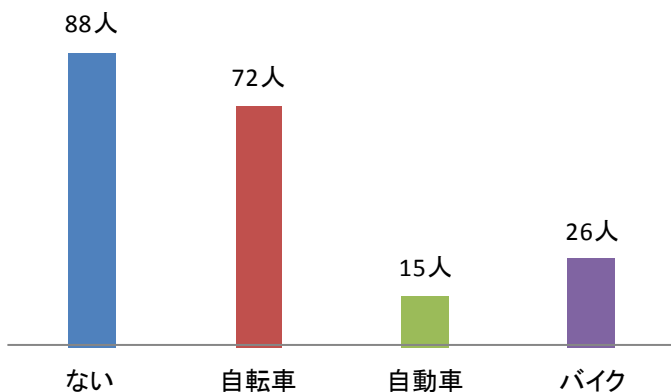
③職業



- ・職業について、「主婦（夫）」または「無職」と答えた人の割合が合わせて約7割となっている。
- ・昨年度の結果と比較すると、「学生」の割合が約5ポイント増加している

⑤自ら運転して使える交通手段（複数回答可）

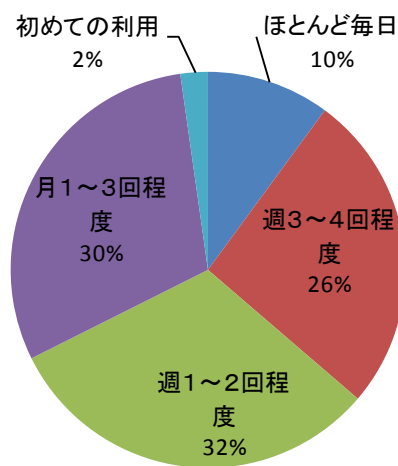
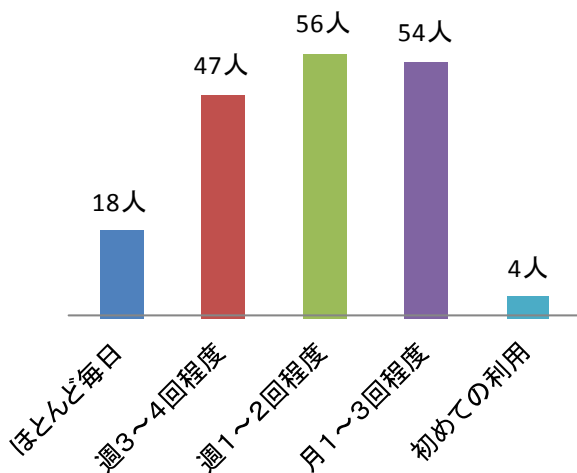
自ら運転して使える交通手段



- ・自ら運転して使える交通手段について、「ない」と答えた人が約5割となっている。
- ・一方で、「自動車」を運転することが可能な人は、約1割となっている。
- ・昨年度の結果と比較すると、「自転車」の割合が約11ポイント増加している

⑥尾張旭市営バスの利用回数

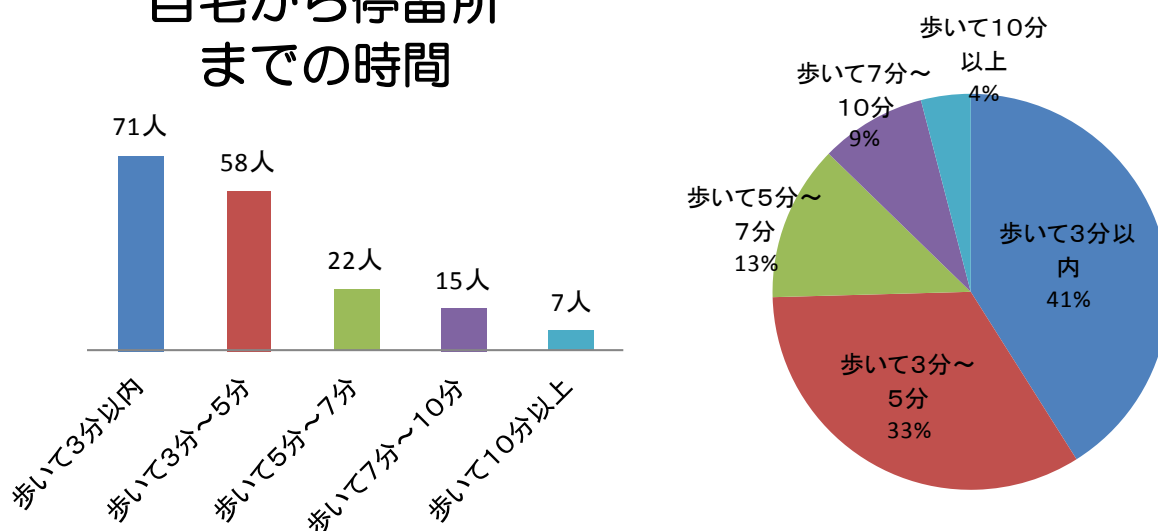
利用頻度



- ・「週に1~2回程度」利用する人が最も多く、続いて、「月に1~3回程度」、「週に3~4回程度」となっており、昨年度と同程度である。
- ・「ほとんど毎日」利用している人が1割となっている。
- ・利用回数については、「初めて」の利用と答えた人は、わずか2%となっている。

⑦自宅からバス停までの時間

自宅から停留所までの時間

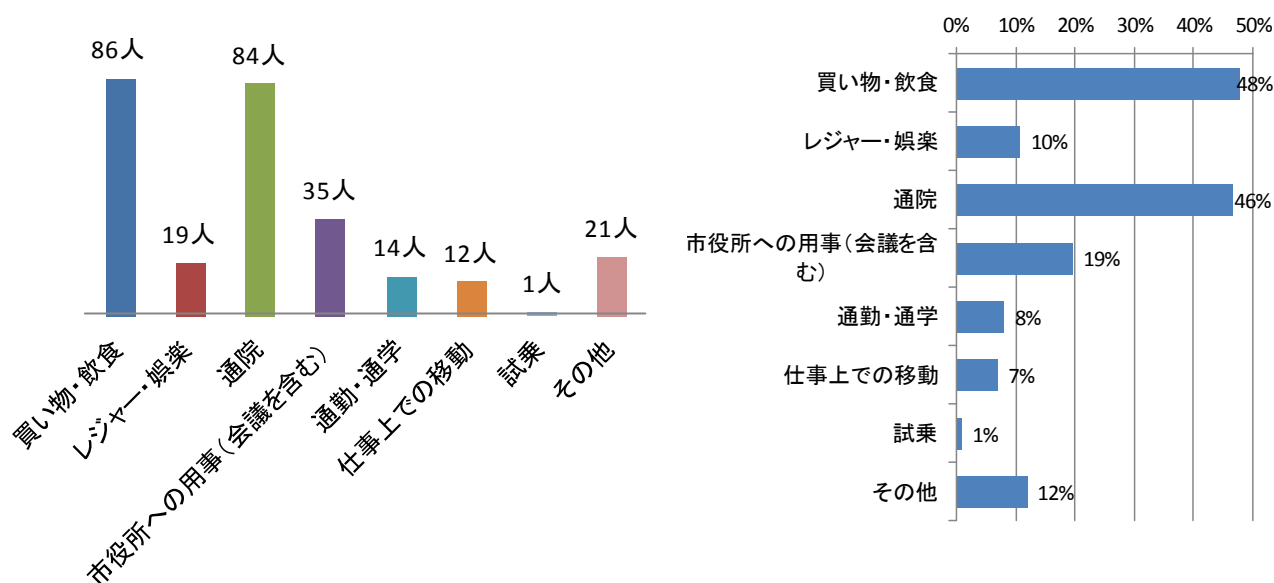


・自宅から停留所までの時間については、「歩いて3分以内」と答えた人が約4割であり最も多く、続いて、「歩いて3分～5分」が約3割となっており、合わせると7割を超えている。

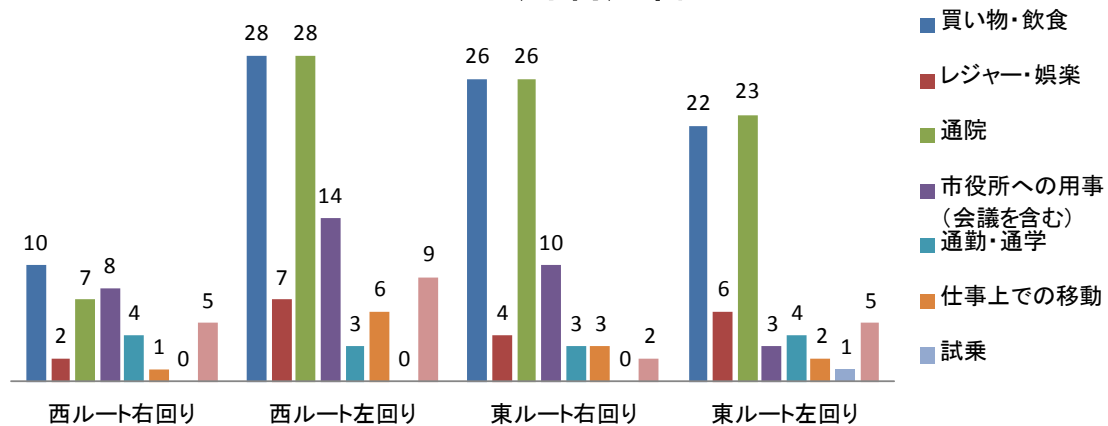
Q. あなたが、あさぴー号を利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑧利用する目的 (2 つまで選択可)

利用目的



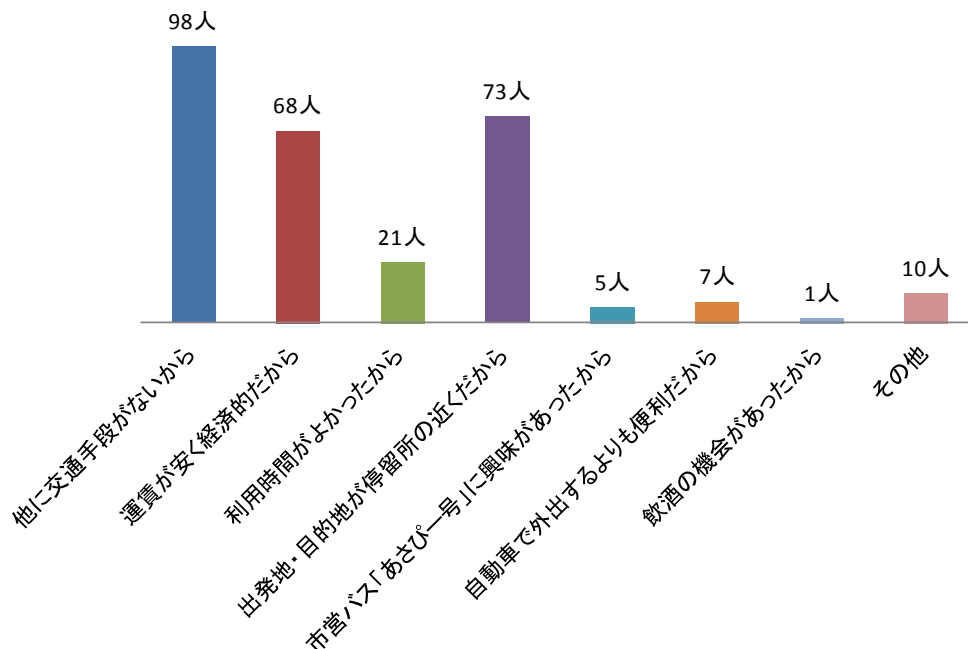
ルート別利用目的



- ・利用目的については、「通院」と答えた人と「買い物・飲食」と答えた人がそれぞれ約5割となっている。
- ・昨年度の結果と比較すると、「通学」の割合が約6ポイント増加している。
- ・西ルートでは、「買い物・飲食」のためのバス利用が最も多かった。
- ・東ルートでは、「通院」のためのバス利用が最も多かった。

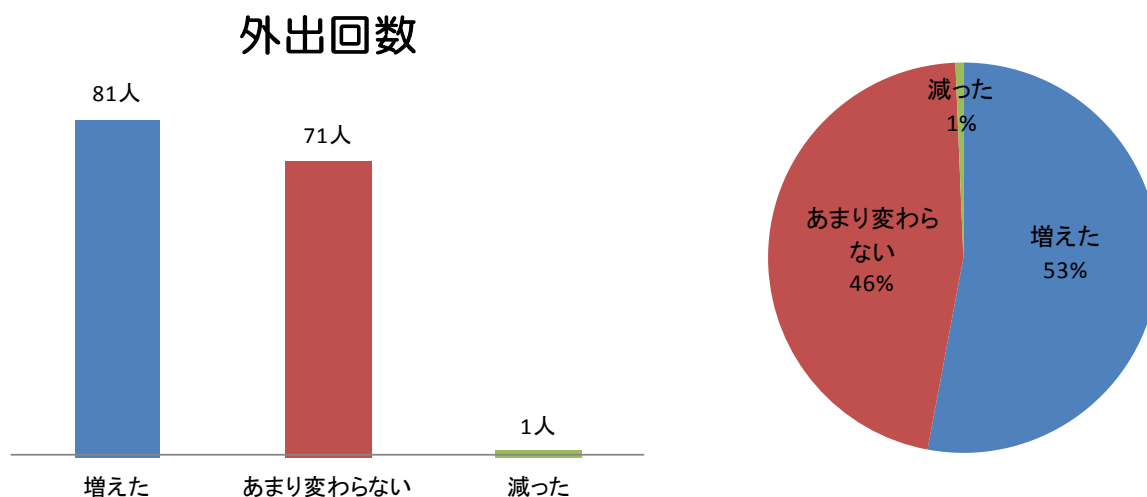
◎利用する理由（2つまで選択可）

利用理由



- ・利用理由は、「他に交通手段がないから」、「出発地・目的地が停留所の近くだから」、「運賃が安く経済的だから」と答えた人が特に多かった。
- ・一方で、「利用時間がよかったから」などの答えは少なかった。
- ・昨年度の結果と異なり、「自動車で外出するよりも便利だから」の回答者数が「市営バス「あさび一号」に興味があったから」の回答者数を上回っている。

⑩あさび一号の運行による外出回数の変化

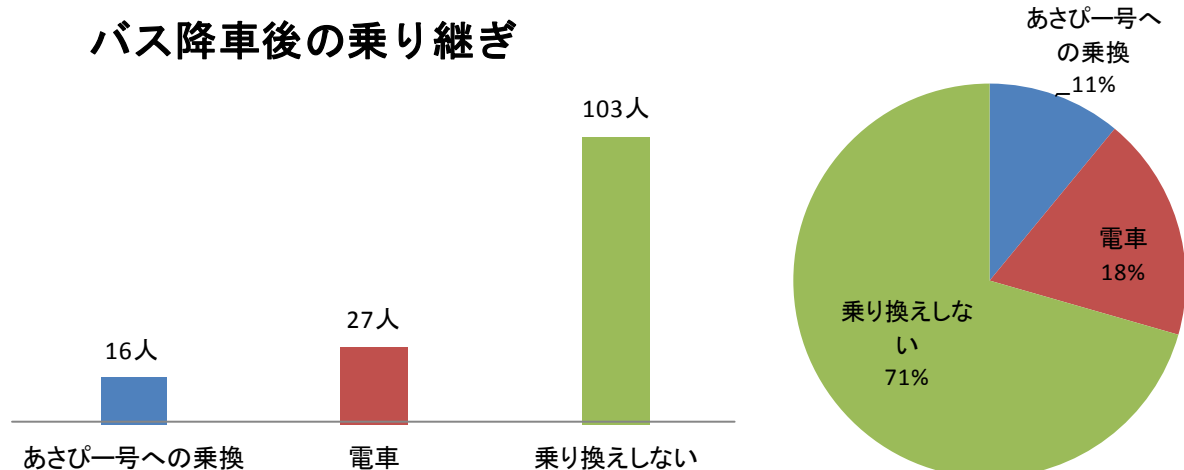


- ・あさび一号により外出回数が「増えた」と答えた人及び「あまり変わらない」と答えた人が約5割となっている。
- ・昨年度の結果と比較すると、「増えた」の割合が約10ポイント減少している。
- ・一方で、「減った」と答えた人は1%であった。

Q. あなたの本日のお出かけについてお聞きします。

⑪本日の乗降内容について

降車後、他ルートへの乗り換え、他の電車・バスへの乗り換え

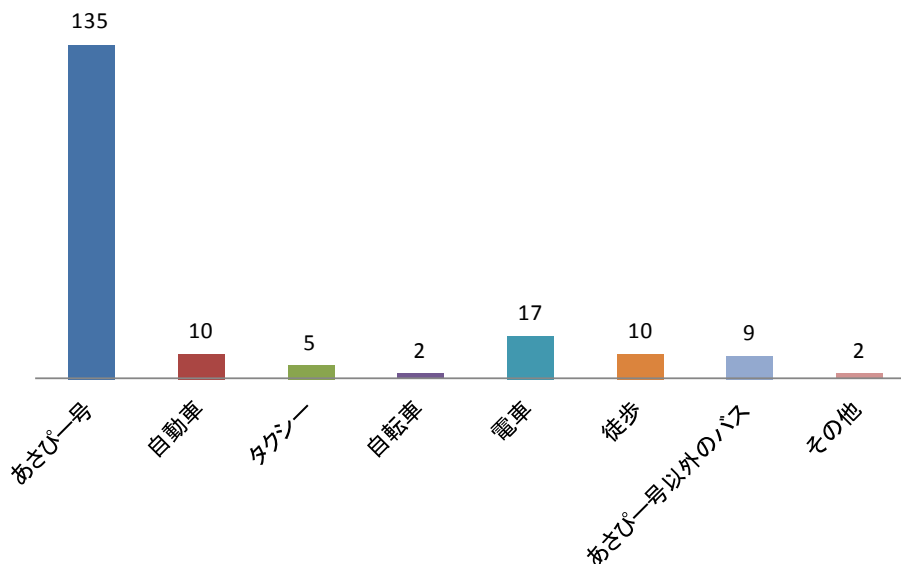


- ・「あさび一号の他ルートへの乗り換え」は回答者の約1割が行っている。
- ・「他の電車・バスへの乗り換え」は回答者の約2割が行っており、「あさび一号の他ルートへの乗り換え」より多かった。

⑬お出かけとお帰りの交通手段（それぞれ2つまで）

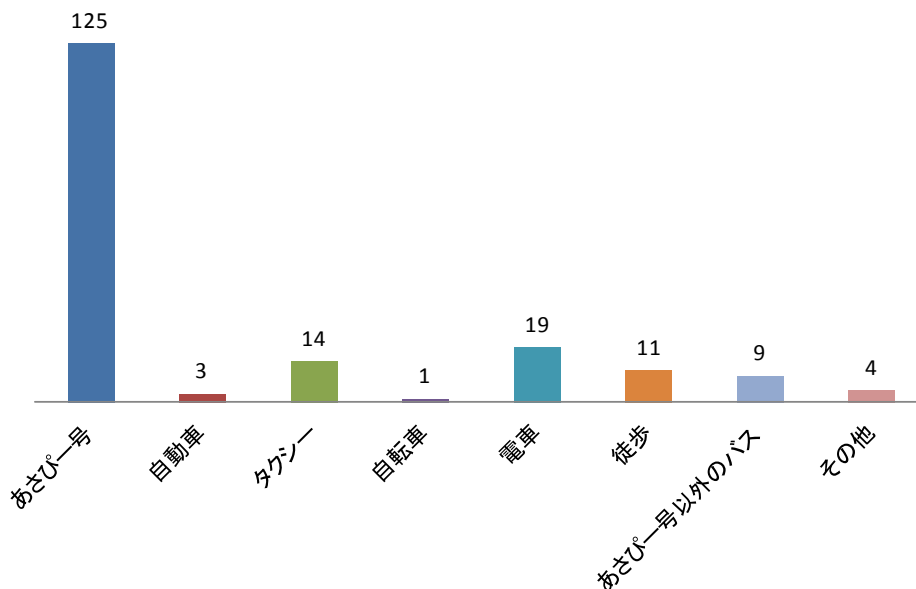
本日のお出かけの交通手段

お出かけの交通手段



本日のお帰りの交通手段

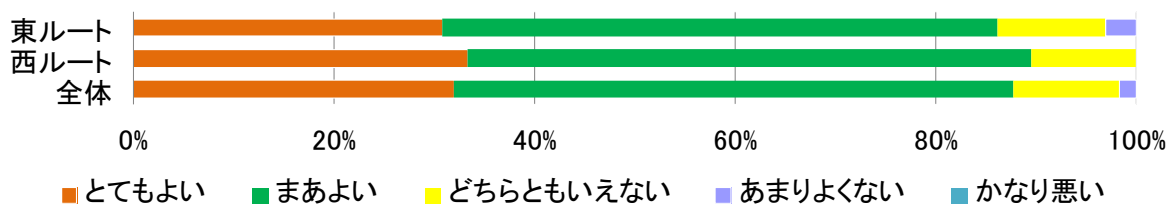
お帰りの交通手段



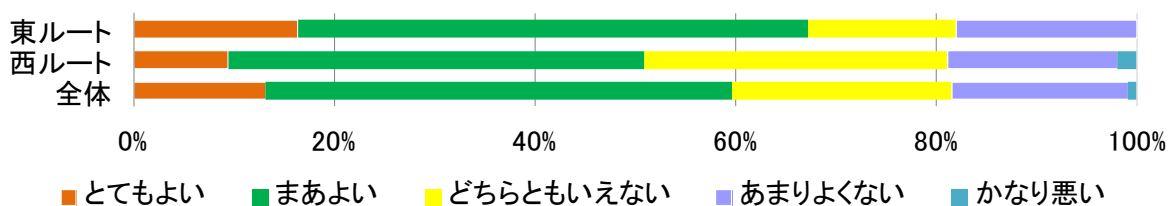
- ・目的地まで「あさぴー号」で行き、「あさぴー号」で帰る人が非常に多かった。
- ・目的地への行き帰りの交通手段には大きな変化はないが、行きに「あさぴー号」を利用して、帰りは「タクシー」や「自家用車」での迎えを利用する人が見受けられる。

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

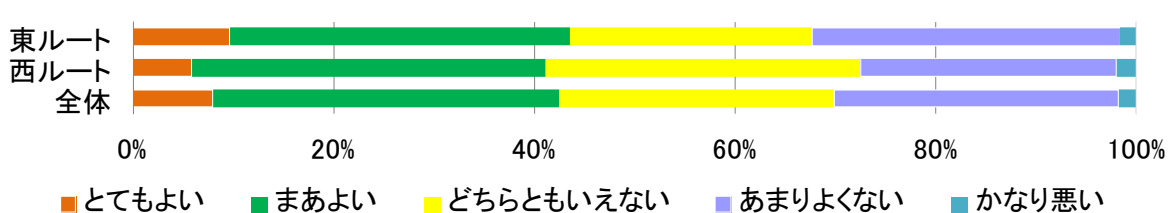
a 運行ルート



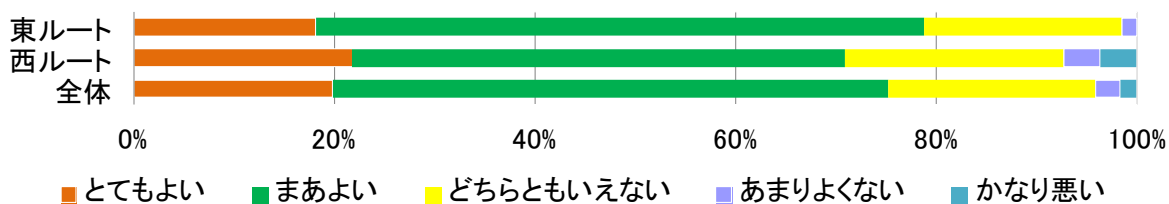
b 運行時間帯



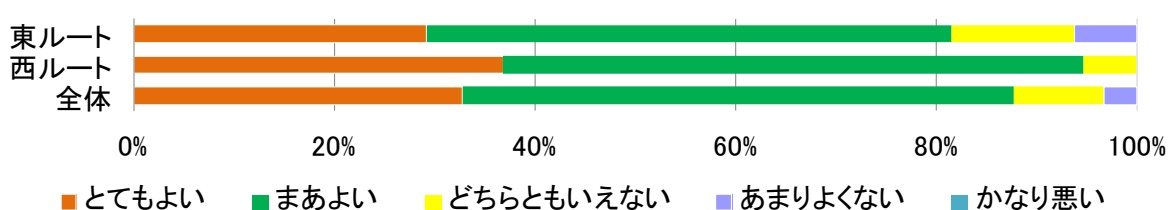
c 運行ダイヤ



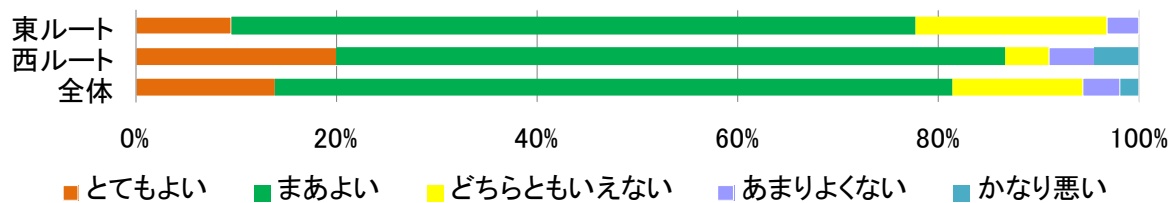
d 乗り心地



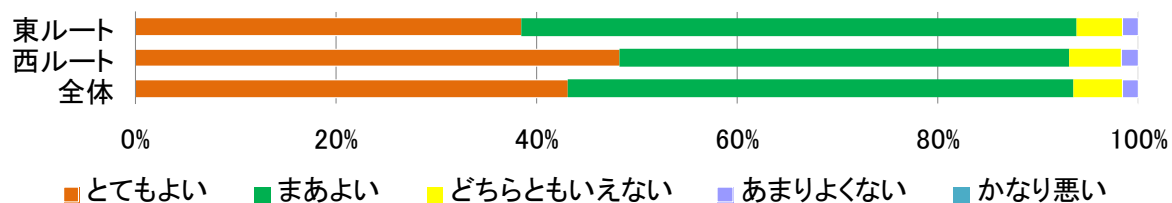
e 停留所の位置



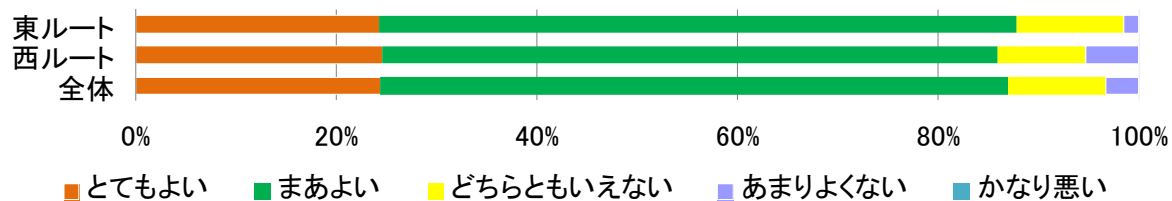
f 停留所の間隔



g 運転手の対応



h 全体

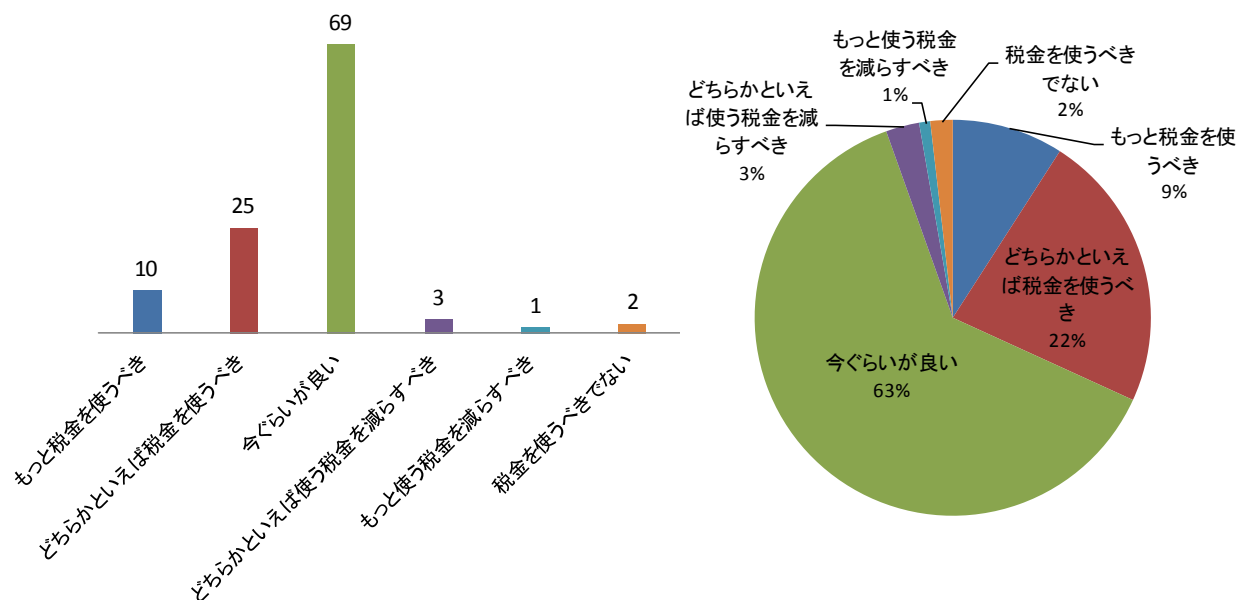


- ・「運行ダイヤ」と「運行時間帯」以外は「とてもよい」「まあよい」を合わせると7割を超えており、特に「運転手の対応」については、9割を超えている。
- ・「運行時間帯」は「とてもよい」「まあよい」を合わせると5割を超えている。
- ・「運行ダイヤ」は、「とてもよい」「まあよい」が合わせて4割に対し、「あまりよくない」「かなり悪い」を合わせると3割を超えている。
- ・どの結果も昨年度から大きな変化はない。

Q.あさび一号の運行経費のことについてお聞きします。

⑮税金を使うことに対し、どう思われますか

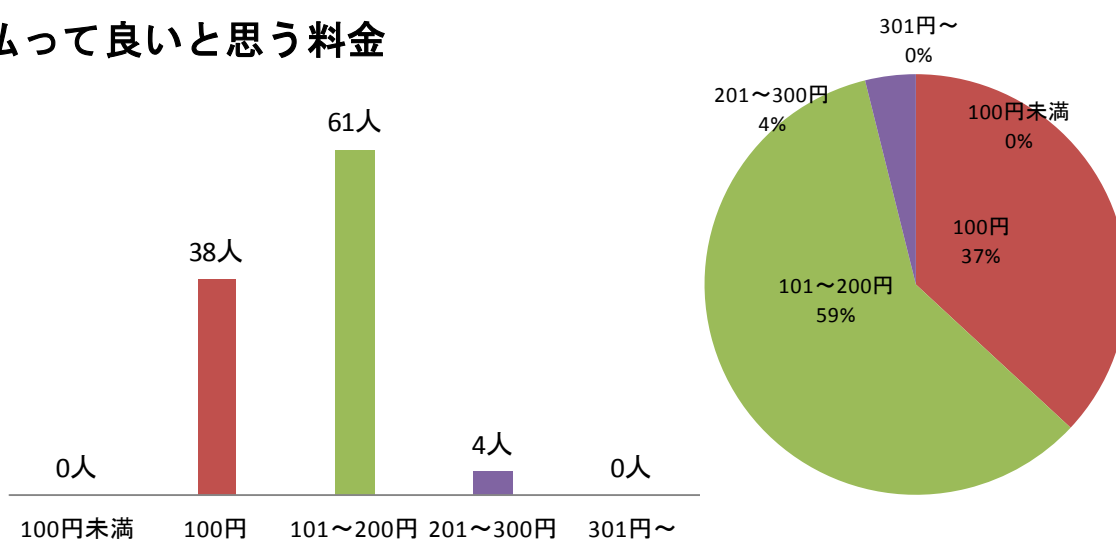
バス運行への税金投入



- ・「今ぐらいが良い」と答えた人が約6割であり最も多かった。
- ・「もっと税金を使うべき」、「どちらかといえば税金を使うべき」と答えた人も合わせると約3割となる。
- ・「どちらかといえば使う税金を減らすべき」、「もっと使う税金を減らすべき」、「税金を使うべきでない」と答えた人も存在する。
- ・昨年度の結果と同じ傾向である。

⑩現在、1回100円の料金を頂いておりますが、このバスがもっと便利になるとしたら、1回いくらまでなら払っても良いと思われますか？

払って良いと思う料金



- ・「101~200円」の金額を答えた人が約6割であり最も多く、昨年度の結果と比較すると、約10ポイント増加している。
- ・現行通りの「100円」と答えた人は約4割となる。
- ・「300円」を超える金額を回答した人はいなかった。

2 まとめ

○ 利用者の特徴

利用者は、「60歳」以上、「女性」の利用が約7割であった。

職業については、「主婦(夫)」または「無職」の方がほとんどであり、自ら運転できる交通手段を「持たない」と答えた方が約5割となっている。

利用理由は、「他に交通手段がないから」、「出発地・目的地が停留所の近くだから」、「運賃が安く経済的だから」を多くの方が答えており、その利用目的は「通院」、「買い物・飲食」が多いこと、またお出かけとお帰りの交通手段はともに「あさび一号」が多いことから、主に高齢の方々の日常生活における「足」として、あさび一号は利用がされているといえる。

また、昨年度の結果と比較すると、若い世代の回答者が増えており、利用目的等の利用状況は変化が見られるが、運行内容の評価や運賃に関する意向に大きな変化は見られない。